

**富田林市
こどもの権利に関する
アンケート調査
結果報告書
（中高生）**

**令和7年2月
富田林市**

目 次

I	アンケート調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の対象者・期間・方法・回答状況.....	1
3	報告書の見方	2
4	報告書について	2
II	アンケート調査結果	4
1	回答者の属性（性別・学年または年齢）	4
2	「こどもの権利」を知っているか.....	6
3	「こどもの権利」の内容を知っているか.....	8
4	守られていないと思う「こどもの権利」	10
5	こどもの状況（自己肯定感：自分のことが好き・自分らしく生きている）	12
6	自分の考えを伝えることができる	14
7	幸福度	16
8	差別について	20
9	困っていること・相談相手	22
10	家庭、学校生活、地域について.....	31
11	こどもの権利をまもる仕組み	48
12	富田林市の取組へのこども・若者の参加.....	50
III	その他回答まとめ	52
IV	調査票（中高生）	57

I アンケート調査概要

1 調査の目的

富田林市では「こどもの権利」を大切にするまちにしていけるために、「こどもの権利条例」の制定をめざしています。

本調査は、市内に住んでいる・通学しているこどもを対象に、こどもの権利の認知度や現在のこどもの状況などを把握し、こどもの声を条例に反映するために実施しました。

調査結果は、以下に活用していきます。

- ・「こどもの権利条例」の制定に向けた基礎資料
- ・ 条例制定後の効果検証のための基礎資料
- ・「こども計画（※）」の策定に向けた参考資料

※「こども計画」とはこども基本法に基づき、こども大綱等を勘案し、各法令等に基づくこどもに関する計画等を一体のものとして策定する総合的なこども施策を定める計画のこと。

2 調査の対象者・期間・方法・回答状況

項目	こどもの権利に関する調査
対象者	富田林市内在住・在学の中学1年生～高校3年生（高校生年齢）
期間	令和6年9月24日（火）～10月31日（木）
方法	WEBによる回答

回答状況	配布数	有効回収数	有効回収率
中学1年生	952件	743件	78.0%
中学2年生	994件	747件	75.2%
中学3年生	988件	711件	72.0%
高校1年生	942件	297件	31.5%
高校2年生	949件	182件	19.2%
高校3年生	907件	155件	17.1%
その他		7件	
不明・無回答		3件	
合計	5,732件	2,845件	49.6%

※協力学校数（小学校17校・中学校11校・高校5校）

※市立小中学校は授業の一環でこどもの権利について事前に動画で学習する取り組みを行った後、アンケートを実施しました。高校はちらしの配布による回答のため、回収率は低くなっています。

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位・第2位・第3位**に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。
- ◇「小学校低学年」および「小学校高学年」は別に取りまとめたアンケート調査結果報告書から転載しています。

4 報告書について

【調査の設計】

調査の設問は、「こども1万人意識調査」※や先進市の調査を参考に「こどもの権利に関する条例検討委員会」による助言・意見をもとに作成しました。

※「こども1万人意識調査」とは2023年9月に（公財）日本財団が発表した調査です。一般の子どもたちの声をより広く聴くことで、日本のこども政策に子どもたちの意見を反映することなどをめざし、子どもたちにインターネットによる意識調査を実施されています。（「こどもの権利」に関する意識調査を含む）

【報告書の表記】

2023年4月に「こども家庭庁」が設置され、「こども基本法」が施行されました。こども基本法で使われているこどもの表記が「こども」であることから、本報告書においても「こども」の表記に統一しています。

【性別による集計】

性別による集計は、男女で回答に差がある場合は報告書に掲載しています。

【自由記述の回答】

本調査における自由記述回答の一部は、意見をまとめたものを掲載しています。資料編は原文のまま掲載していますが、明らかな誤字・脱字等は修正等行いました。

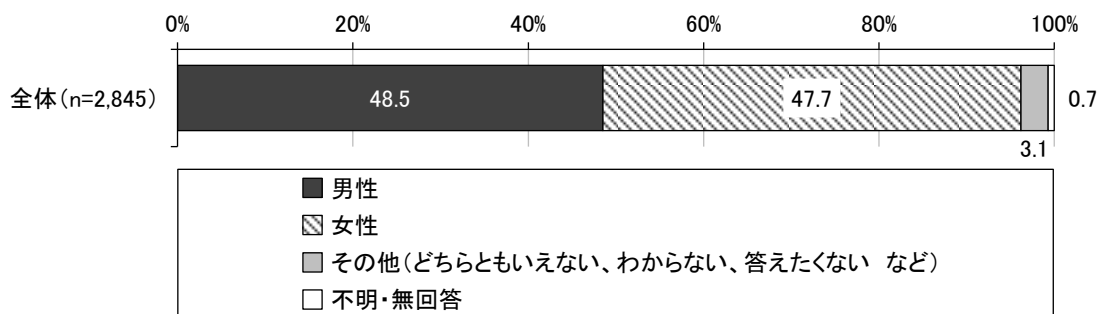
【全体から見える傾向を記載予定】

Ⅱ アンケート調査結果

Ⅰ 回答者の属性（性別・学年または年齢）

問Ⅰ あなたの性別を教えてください。（1つを選ぶ）

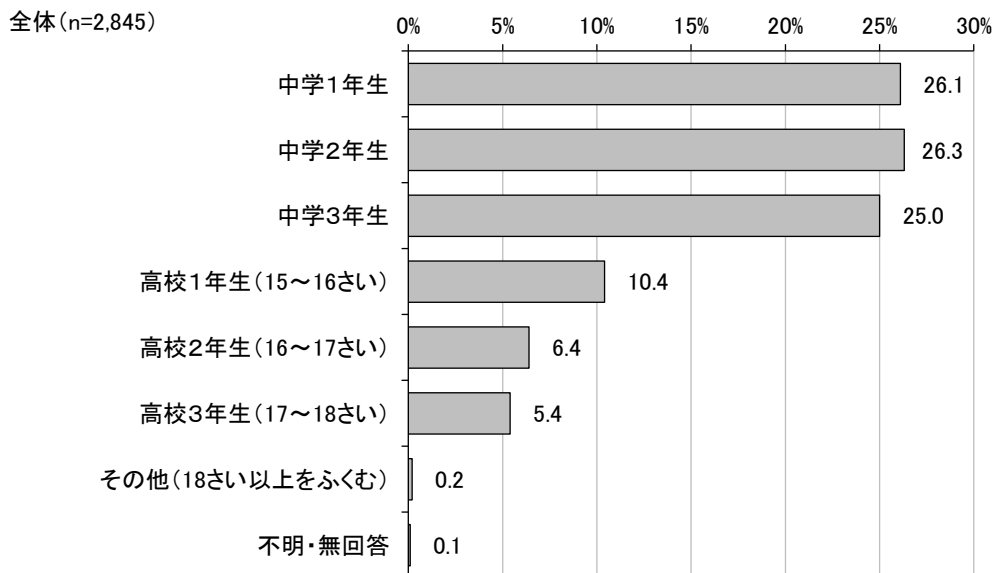
全体では「男性」が48.5%と割合が最も高く、次いで「女性」が47.7%、「その他（どちらともいえない、わからない、答えたくない など）」が3.1%となっています。



※その他（どちらともいえない、わからない、答えたくない など）についての表記は、これ以降「その他」に表記を統一します。

問Ⅱ あなたの学年または年れいを教えてください。（1つを選ぶ）

全体では「中学2年生」が26.3%と割合が最も高く、次いで「中学1年生」が26.1%、「中学3年生」が25.0%となっています。

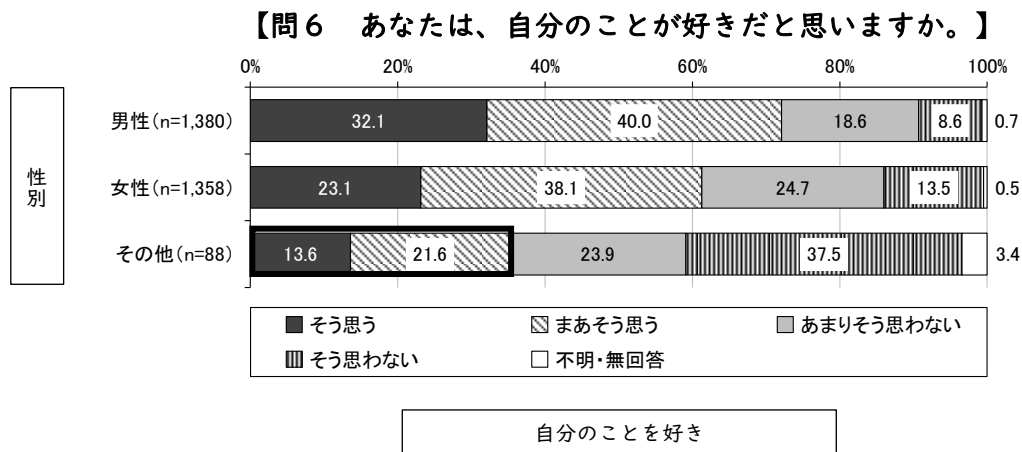


コラム①：「性別を答えたくないこども」への配慮

本調査では、「男性」「女性」のほかに「その他（どちらともいえない、わからない、答えたくない など）」（以下、その他）という選択肢を「性別を答えたくないこども」への配慮として設けました。＊

調査の結果、「その他」と回答したこどもは、「男性」「女性」と答えた人よりも自分の考えを相手に伝えることができておらず、自己肯定感（自分のこと好き・自分らしく生きている）や幸福度、家庭や学校生活、地域への満足度が低いことが分かりました。（資料編 PO～POにグラフを掲載）

＊「性別を答えたくないこども」は、子どもの権利条約、こども基本法、さらには「地球上の誰一人として取り残さない」とするSDGsの理念を市政に取り入れた「富田林版 SDGs 取組方針」を踏まえて選択肢として設けました。



また「その他」と回答したこどもは、「つらいと感じていること」では、「自分のこと（見た目、成績、性格など）」が半数を占めており、こうしたつらいことを相談する相手が「いない」人の割合が高くなっています（P23に掲載）。

【問11 あなたは今、困っていること、つらいと感じていることはありますか。】

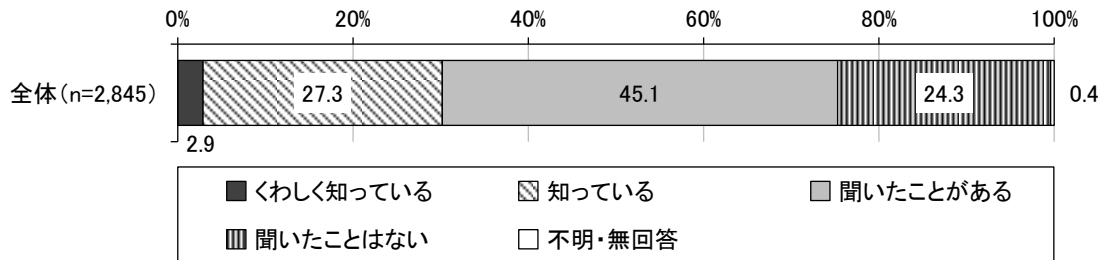
単位：%		学校のこと	学校の先生のこと	友達のこと	いじめのこと	暴力（ぎゃくたいなど）のこと	家族の世話や家事などをしてあげられないこと	お金のこと	インターネット、メール、SNSのこと	家族のこと	自分のこと（見た目、成績、性格など）	その他	困っていること、つらいと感じていること	不明・無回答
全体 (n=2,845)		15.7	5.4	14.5	2.0	1.5	1.9	8.8	2.4	8.2	30.3	3.6	41.9	6.6
性別	男性 (n=1,380)	13.2	4.4	9.6	2.0	1.6	1.7	10.3	2.3	6.5	22.2	4.6	46.3	7.6
	女性 (n=1,358)	16.7	5.7	18.7	1.5	1.0	1.9	6.6	2.2	9.0	36.9	2.4	39.0	5.7
	その他 (n=88)	39.8	15.9	27.3	10.2	8.0	6.8	18.2	5.7	22.7	55.7	8.0	17.0	3.4

2 「こどもの権利」を知っているか

問3 「こどもの権利」とは、こどものみなさんが安心して生活できること、自由に意見を言うことができることなど自分らしく元気に生きる上で大切なものです。

あなたは、こうした「こどもの権利」について知っていますか。（1つを選ぶ）

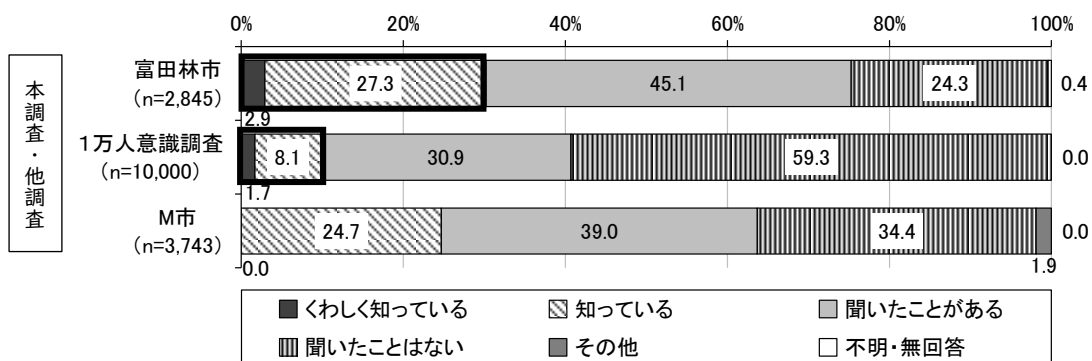
全体では「聞いたことがある」が45.1%と割合が最も高く、次いで「知っている」が27.3%、「聞いたことはない」が24.3%となっています。



参考：本調査と他調査との比較（こども1万人意識調査、M市）

こどもの権利の認知について、本市では「知っている」（くわしく知っている+知っている）が30.2%と1万人意識調査の9.8%、M市の24.7%よりも5ポイント以上高くなっています。

【問3 あなたは、こうした「こどもの権利」について知っていますか。】

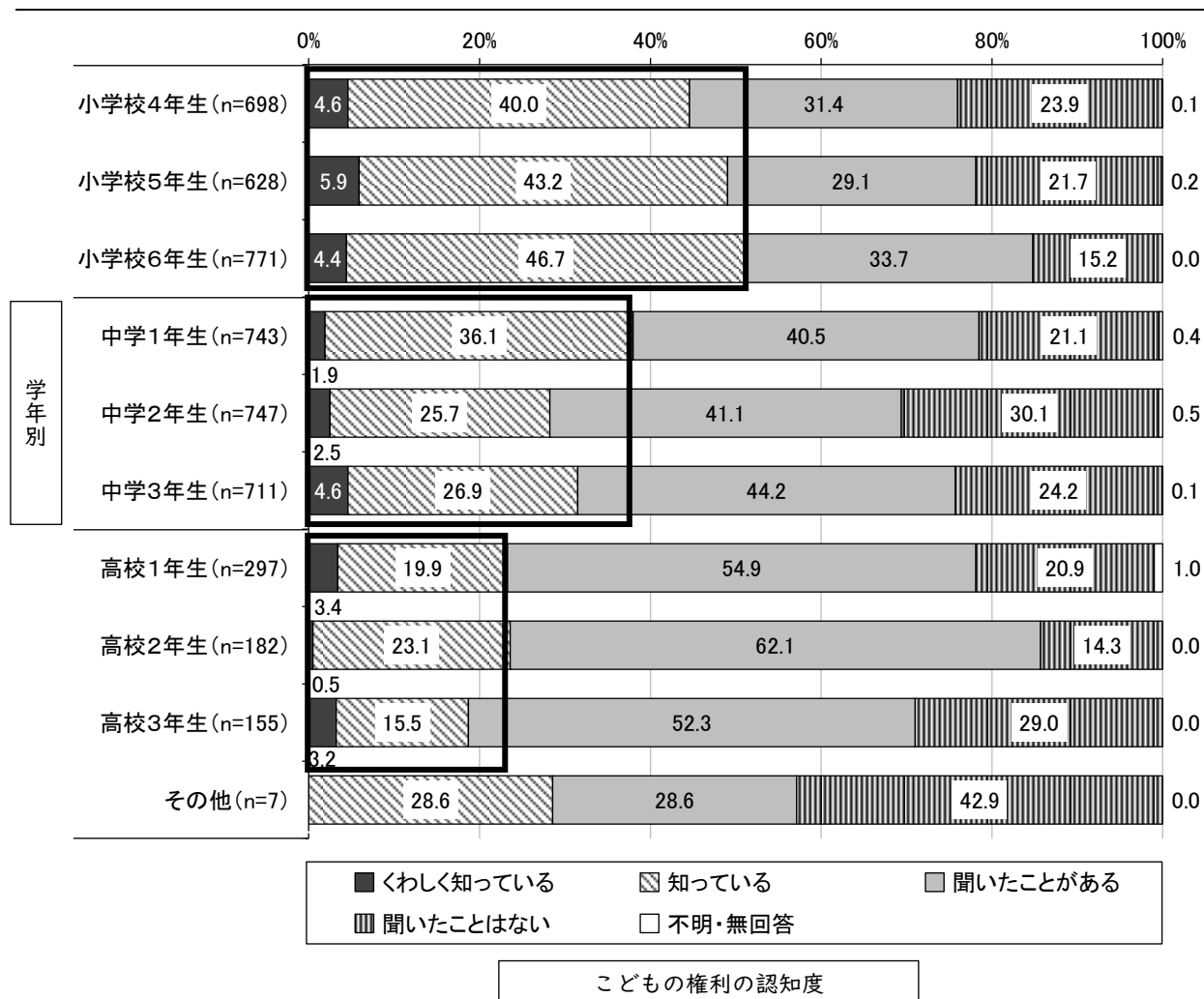


こどもの権利の認知度

問2 学年別×問3 こどもの権利の認知度

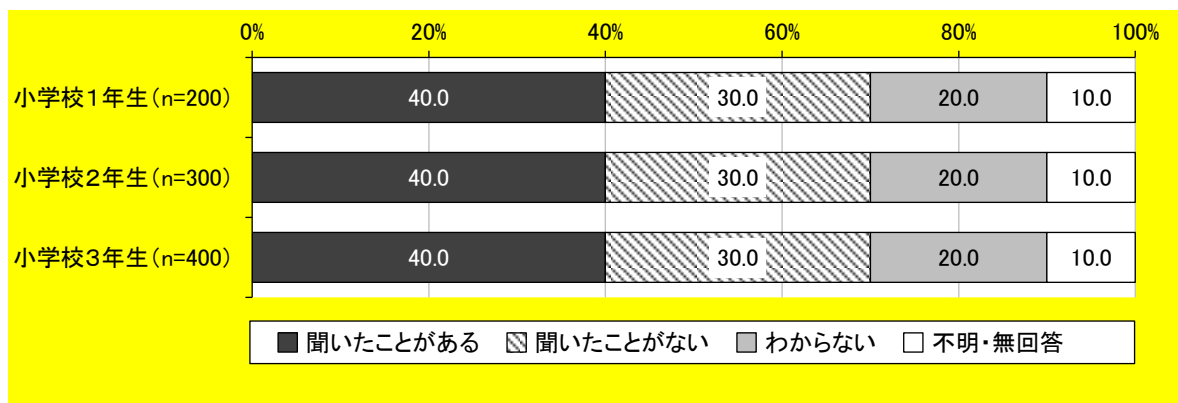
学年別でみると、小学校4～6年生は「知っている」（くわしく知っている+知っている）の割合が最も高く各学年で40%を上回っています。

小学校4～6年生、中学生、高校生と上がるにつれて、「知っている」（くわしく知っている+知っている）の割合が低くなっています。



小学校低学年（数値は集計中）

問4 あなたは、これまでに「こどもの権利」という言葉を聞いたことがありますか。（1つを選ぶ）

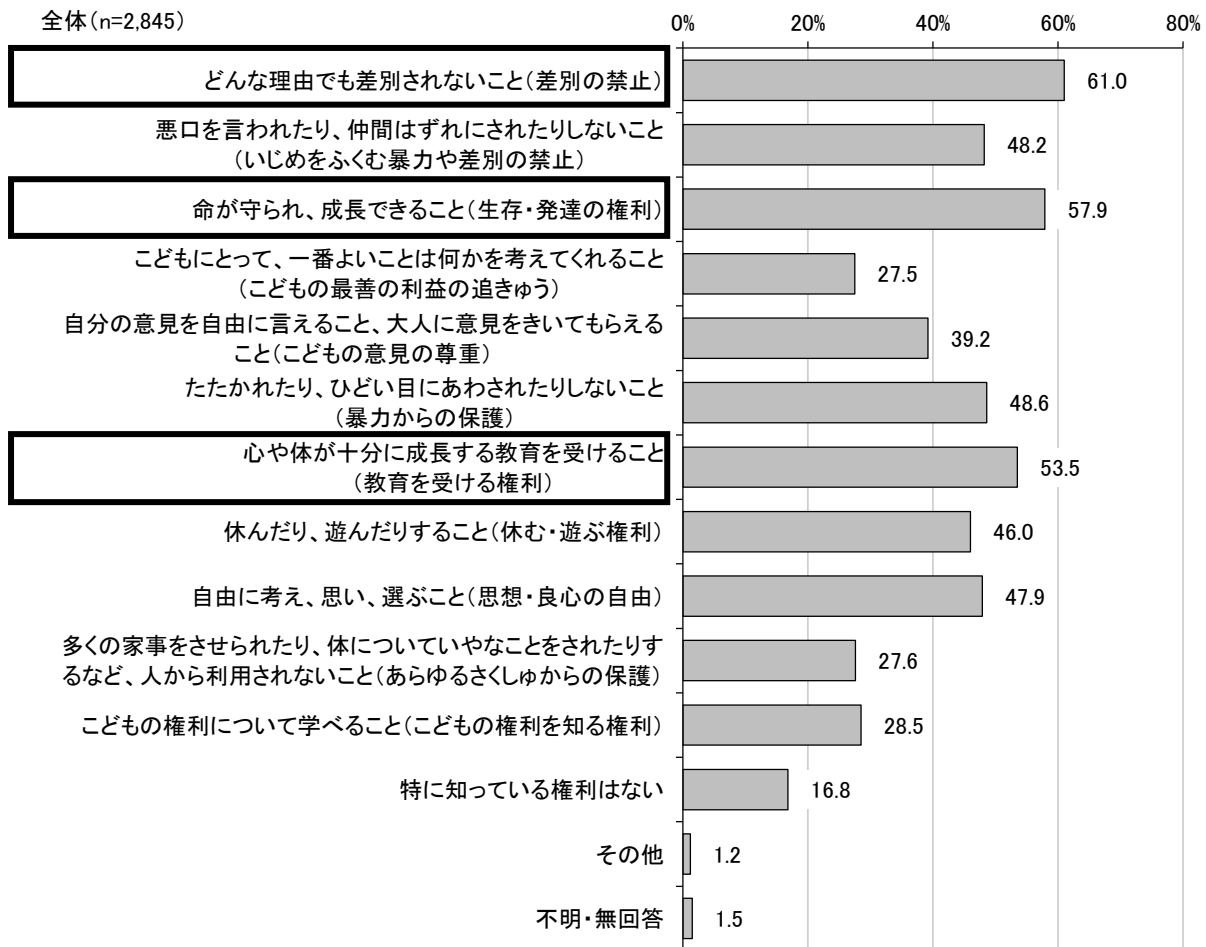


3 「こどもの権利」の内容を知っているか

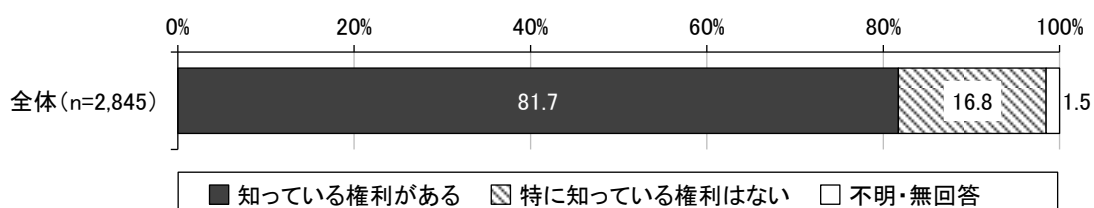
問4 「こどもの権利」には、次のようなものがあります。

あなたが知っている「こどもの権利」を選んでください。(知っているすべてを選ぶ)

全体では「どんな理由でも差別されないこと（差別の禁止）」が61.0%と割合が最も高く、次いで「命が守られ、成長できること（生存・発達の権利）」が57.9%、「心や体が十分に成長する教育を受けること（教育を受ける権利）」が53.5%となっています。



参考：全体として「知っている権利がある」と回答した人は81.7%、「特に知っている権利はない」が16.8%となっています。



問2 学年別×問4「こどもの権利」のどんな権利を知っているか

学年別でみると小学校4～6年生、中学生が「どんな理由でも差別されないこと（差別の禁止）」が、高校生は「心や体が十分に成長する教育を受けること（教育を受ける権利）」の割合が高くなっています。

「休んだり、遊んだりすること（休む・遊ぶ権利）」は、小学校4～6年生では約60%と割合が高くなっていますが、中学生、高校生になるにつれて割合が低くなっており、学年により、知っているこどもの権利に差がみられます。

単位：%		止 ど ん な 理 由 で も 差 別 さ れ な い こ と （ 差 別 の 禁 止 ）	止 な い こ と （ い じ め を ふ く む 暴 力 や 差 別 の 禁 止 ）	悪 口 を 言 わ れ た り 、 仲 間 は ず れ に さ れ た り し ）	命 が 守 ら れ 、 成 長 で き る こ と （ 生 存 ・ 発 達 の 権 利 ）	う て く れ る こ と （ こ ど も の 最 善 の 利 益 の 追 き ゆ ）	こ ど も に と つ て 、 一 番 よ い こ と は 何 か を 考 え ）	重 き い て も ら え る こ と （ こ ど も の 意 見 の 尊 重 ）	自 分 の 意 見 を 自 由 に 言 え る こ と 、 大 人 に 意 見 を き い て も ら え る こ と （ こ ど も の 意 見 の 尊 重 ）	た た か れ た り 、 ひ ど い 目 に あ わ さ れ た り し な こ と （ 暴 力 か ら の 保 護 ）	心 や 体 が 十 分 に 成 長 す る 教 育 を 受 け る こ と （ 教 育 を 受 け る 権 利 ）	休 ん だ り 、 遊 ん だ り す る こ と （ 休 む ・ 遊 ぶ 権 利 ）	自 由 に 考 え 、 思 い 、 選 ぶ こ と （ 思 想 ・ 良 心 の 自 由 ）	多 く の 家 事 を さ せ ら れ た り 、 体 に つ い て い い や な い こ と を さ れ た り す る さ く し ゆ 、 か ら の 保 護 ）	こ ど も の 権 利 に つ い て 学 べ る こ と （ こ ど も の 権 利 を 知 る 権 利 ）	特 に 知 っ て い る 権 利 は な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=2,845)		61.0	48.2	57.9	27.5	39.2	48.6	53.5	46.0	47.9	27.6	28.5	16.8	1.2	1.5			
学 年	小学校4年生(n=698)	70.2	50.7	60.7	46.0	50.7	50.4	51.0	56.7	46.3	37.1	35.2	8.0	5.7	2.1			
	小学校5年生(n=628)	79.6	57.2	62.1	41.4	49.4	56.8	61.0	63.9	48.7	35.4	38.7	5.4	5.1	1.1			
	小学校6年生(n=771)	83.3	56.7	70.0	42.4	51.6	58.1	74.6	64.7	52.8	42.3	40.6	4.2	1.7	0.5			
	中学1年生(n=743)	71.3	56.8	62.2	31.9	42.5	54.8	54.0	53.4	47.9	30.8	33.4	11.8	2.2	1.1			
	中学2年生(n=747)	64.8	51.8	59.7	29.0	41.6	50.2	52.6	50.3	47.8	30.1	29.9	16.6	0.7	1.7			
	中学3年生(n=711)	61.7	45.1	57.2	28.3	39.1	48.5	52.9	43.6	49.9	26.2	27.6	17.6	1.4	2.1			
	高校1年生(n=297)	48.8	40.7	53.9	19.5	33.3	38.4	54.2	37.0	43.8	22.2	22.2	21.9	0.3	1.3			
	高校2年生(n=182)	46.7	40.1	52.7	19.8	35.2	43.4	61.0	36.8	55.5	22.0	23.6	18.1	0.0	0.0			
	高校3年生(n=155)	31.6	28.4	46.5	18.7	27.7	38.7	49.0	29.7	38.7	23.2	19.4	27.1	0.6	0.6			
	その他(n=7)	42.9	42.9	42.9	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	0.0	28.6	0.0			

小学校低学年（数値は集計中）

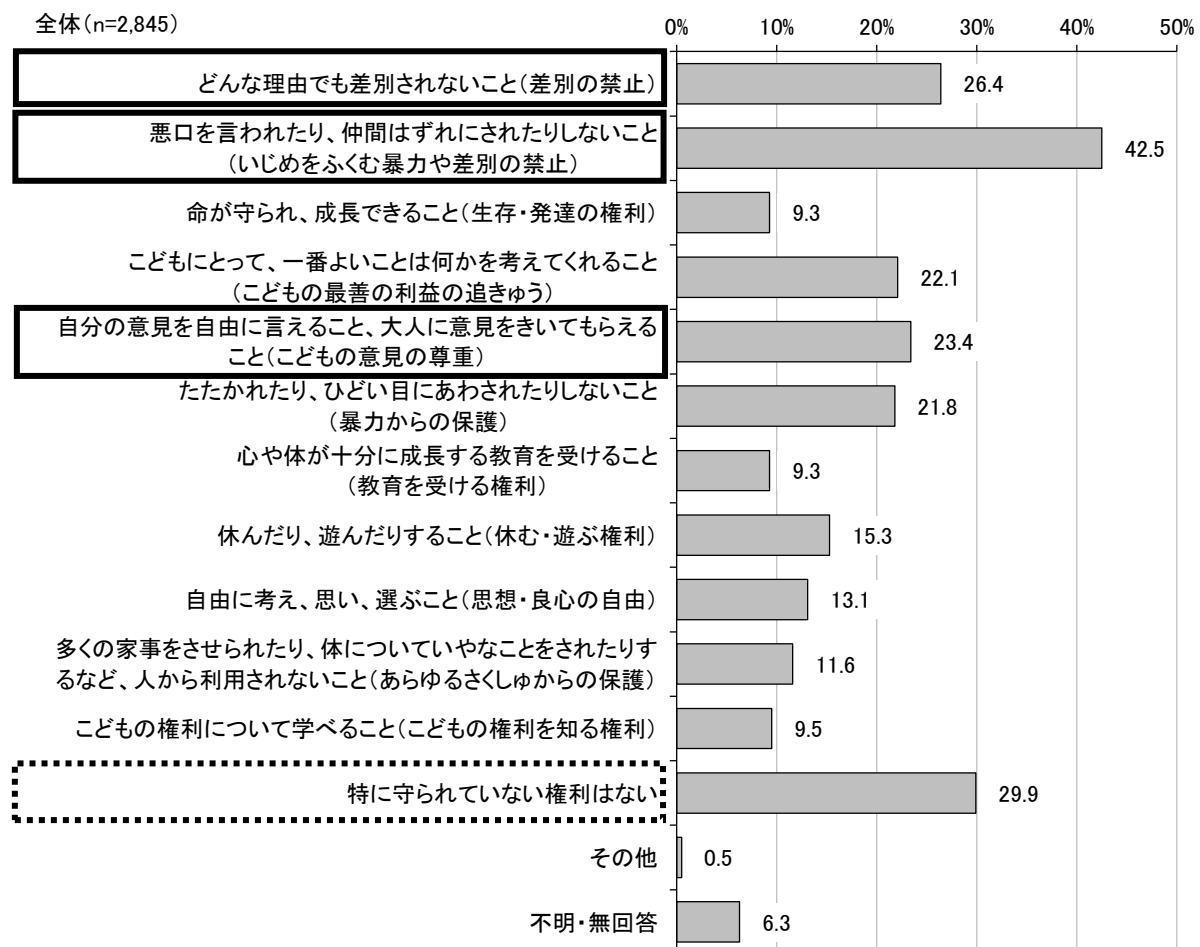
単位：%		悪 口 を 言 わ れ な い こ と	自 分 の 気 持 ち を 言 え る こ と	ご 飯 が あ る こ と	病 気 の と き に お 医 者 さ ん に み て も ら え る こ と	痛 い こ と を さ れ な い こ と	遊 ぶ こ と	将 来 の 夢 を 持 つ こ と	こ の 学 校 で い ろ ろ な こ と を 知 る こ と	こ の 他 の こ と	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=1,000)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学 年	小学校1年生(n=200)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校2年生(n=300)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校3年生(n=400)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4 守られていないと思う「こどもの権利」

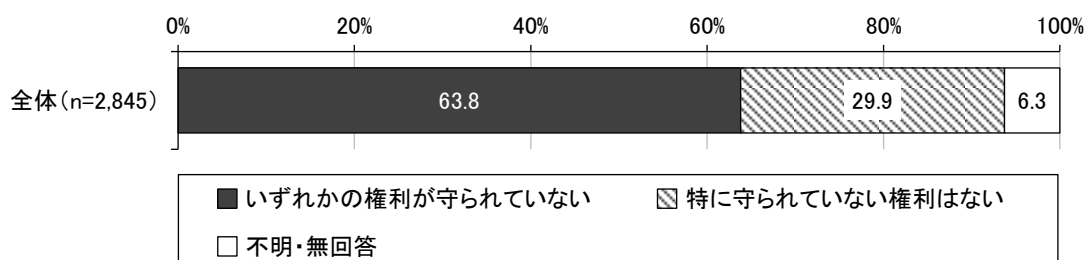
問5 あなたやあなたの周りで、守られていないと思う「こどもの権利」を選んでください。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと（いじめをふくむ暴力や差別の禁止）」が42.5%と割合が最も高く、次いで「どんな理由でも差別されないこと（差別の禁止）」が26.4%、「自分の意見を自由に言えること、大人に意見をきいてもらえること（こどもの意見の尊重）」が23.4%となっています。

また、「特に守られていない権利はない」も29.9%となっています。



参考：全体として「いずれかの権利が守られていない」と回答した人は63.8%、「特に守られていない権利はない」が29.9%となっています。



問2 学年別×問5 守られていないと思う「こどもの権利」

学年別でみると、小学校4～6年生、中学生、高校1年生は「悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと（いじめをふくむ暴力や差別の禁止）」、高校2～3年生は「特に守られていない権利はない」の割合が最も高くなっています。

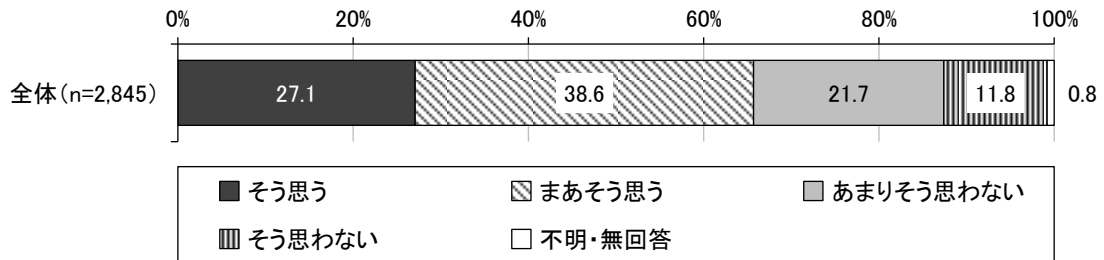
「こどもにとって、一番よいことは何かを考えてくれること（こどもの最善の利益の追きゅう）」、「自分の意見を自由に言えること、大人に意見をきいてもらえること（こどもの意見の尊重）」は小学校4～6年生・中学1年生は10%台に対して、中学2年生以上は20%台と割合が高くなっています。

単位：%		どんな理由でも差別されないこと（差別の禁止）	いじめをふくむ暴力や差別の禁止	悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと（いじめをふくむ暴力や差別の禁止）	命が守られ、成長できること（生存・発達の権利）	こどもにとって、一番よいことは何かを追求できること（こどもの最善の利益の追きゅう）	自分の意見を自由に言えること、大人に意見をきいてもらえること（こどもの意見の尊重）	自分から保護を受けること、大人に意見をきいてもらえること（こどもの意見の尊重）	たまたまの暴力から保護を受けること（こどもの安全）	心や体が十分に成長する教育を受けること（教育を受ける権利）	休んだり、遊んだりすること（休む・遊ぶ権利）	自由に考え、思い、選ぶこと（思想・良心の自由）	多くの家事をさせられたり、体についていけないこと（あらゆるさくしゅからの保護）	こどもの権利について学べること（こどもの権利を知る権利）	特に守られていない権利はない	その他	不明・無回答
全体(n=2,845)		26.4	42.5	9.3	22.1	23.4	21.8	9.3	15.3	13.1	11.6	9.5	29.9	0.5	6.3		
学年	小学校4年生(n=698)	20.6	32.1	11.9	13.5	13.5	20.5	12.2	14.9	11.5	11.0	9.7	28.4	3.0	12.9		
	小学校5年生(n=628)	24.7	35.7	12.3	14.0	15.4	26.4	11.8	15.6	12.6	11.1	10.4	30.9	1.3	11.1		
	小学校6年生(n=771)	24.9	39.4	12.8	18.0	16.6	28.4	13.6	16.5	14.4	11.5	9.5	28.0	1.8	10.5		
	中学1年生(n=743)	28.4	46.6	8.2	18.0	16.3	24.5	7.8	13.2	11.8	10.6	6.3	28.0	0.3	6.3		
	中学2年生(n=747)	30.9	46.6	10.4	23.6	27.4	23.8	10.8	15.9	14.6	12.3	10.4	27.8	0.5	5.9		
	中学3年生(n=711)	22.5	44.0	8.9	24.6	24.3	20.5	7.6	15.6	11.1	11.7	8.0	30.7	0.3	7.0		
	高校1年生(n=297)	24.9	35.4	10.8	21.5	23.6	20.9	12.8	17.2	15.2	10.8	9.4	34.3	0.7	5.7		
	高校2年生(n=182)	24.2	30.2	9.3	21.4	25.3	13.7	9.3	14.3	11.5	13.2	15.9	34.1	1.1	6.0		
	高校3年生(n=155)	16.8	24.5	7.1	24.5	29.0	15.5	9.0	17.4	17.4	9.7	17.4	33.5	0.0	5.8		
	その他(n=7)	42.9	57.1	42.9	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	42.9	14.3	28.6	0.0		

5 こどもの状況（自己肯定感：自分のことが好き・自分らしく生きている）

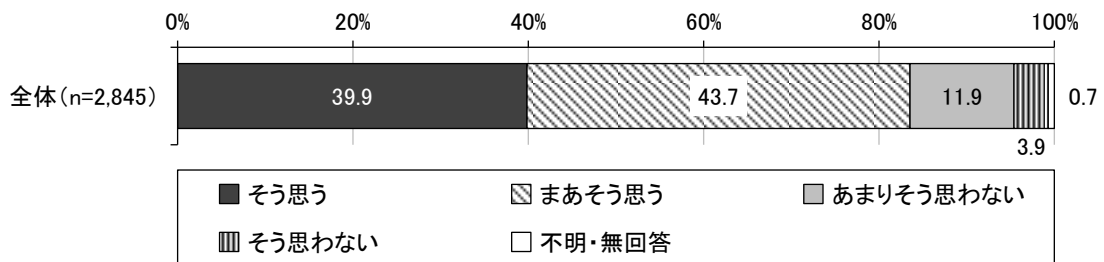
問6 あなたは、自分のことが好きだと思いますか。（1つを選ぶ）

全体では「まあそう思う」が38.6%と割合が最も高く、次いで「そう思う」が27.1%、「あまりそう思わない」が21.7%となっています。



問7 あなたは、自分らしく生きていると思いますか。（1つを選ぶ）

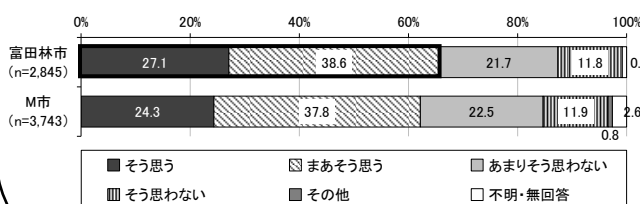
全体では「まあそう思う」が43.7%と割合が最も高く、次いで「そう思う」が39.9%、「あまりそう思わない」が11.9%となっています。



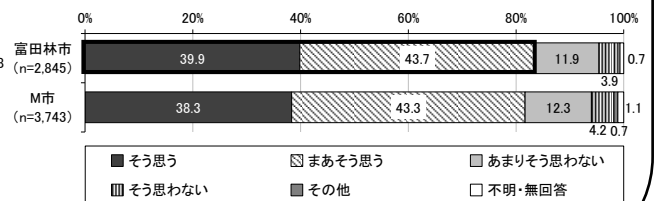
参考：本調査と他調査との比較（M市）

「自分のことが好き」について、本市では「そう思う」（そう思う+まあそう思う）が65.7%と、M市の62.1%よりも3.6ポイントほど割合が高くなっています。また、「自分らしく生きている」について、本市では、「そう思う」（そう思う+まあそう思う）が83.6%と、M市の81.6%よりも2ポイントほど割合が高くなっています。

【問6 あなたは、自分のことが好きだと思いますか。】



【問7 あなたは、自分らしく生きていると思いますか。】

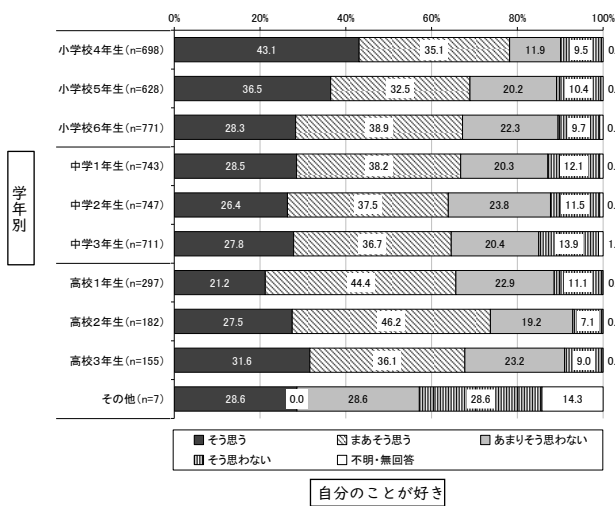


コラム②：自分のことが好き・自分らしく生きている（自己肯定感）

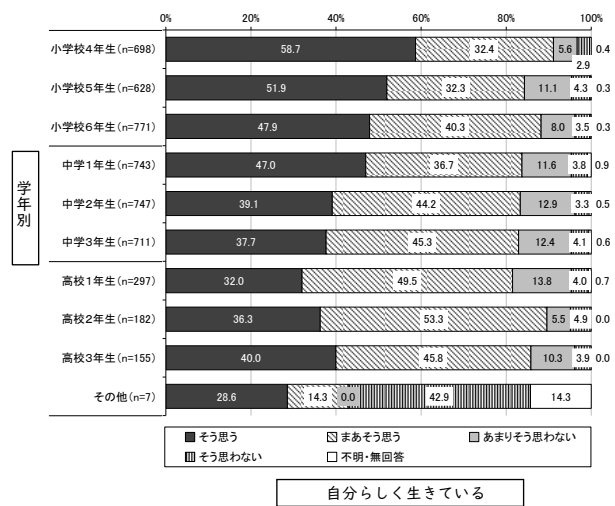
「自分のことが好き」に「そう思う」と回答した人は小学校4年生では43.1%いました。しかし、学年が上がるにつれて低下し、小学校6年生では28.3%まで低下しました。中学生は、20%台後半で推移していますが、高校生は学年が上がるごとに高くなり、高校3年生では31.6%となりました。

「自分らしく生きている」も同じ傾向がみられる結果となっています。

【問6 あなたは、自分のことが好きだと思いますか。】

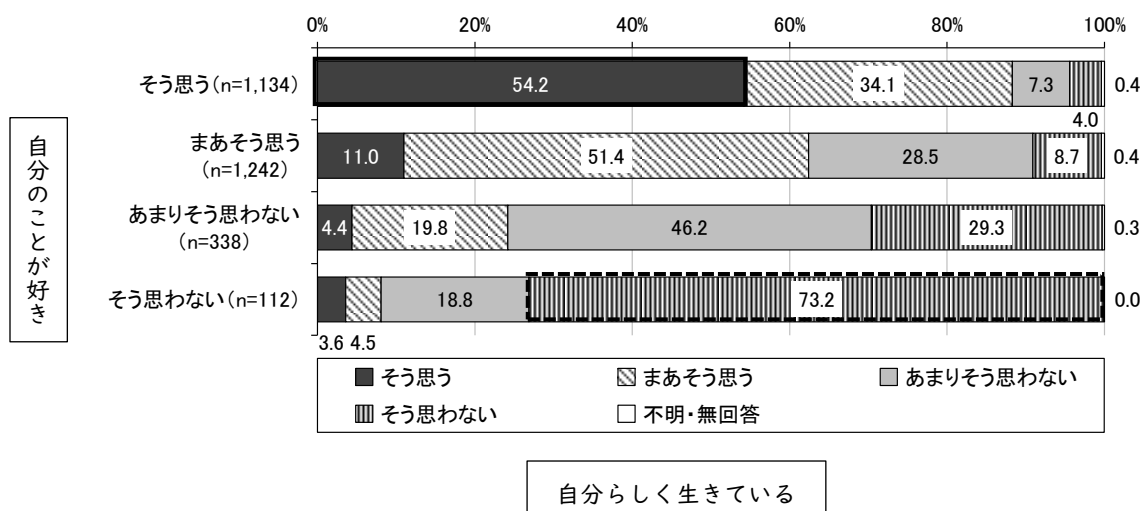


【問7 あなたは、自分らしく生きていると思いますか。】



「自分のことが好き」に「そう思う」と回答したこどもの54.2%が「自分らしく生きている」に「そう思う」と回答しています。一方で、「自分のことが好き」に「そう思わない」と回答したこどもの73.2%が「自分らしく生きている」に「そう思わない」と回答しています。自分らしく生きていると感じている人ほど、自分のことが好きと答える傾向となりました。

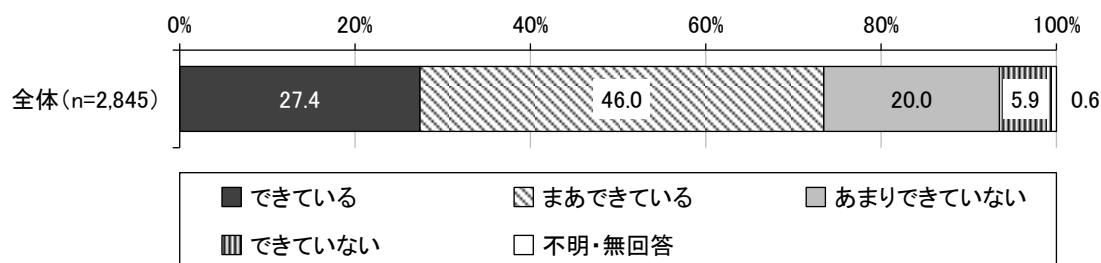
【問6 あなたは、自分のことが好きだと思いますか。 × 問7 あなたは、自分らしく生きていると思いますか。】



6 自分の考えを伝えることができる

問8 あなたは、自分の考えを相手にはっきり伝えることができますか。(1つを選ぶ)

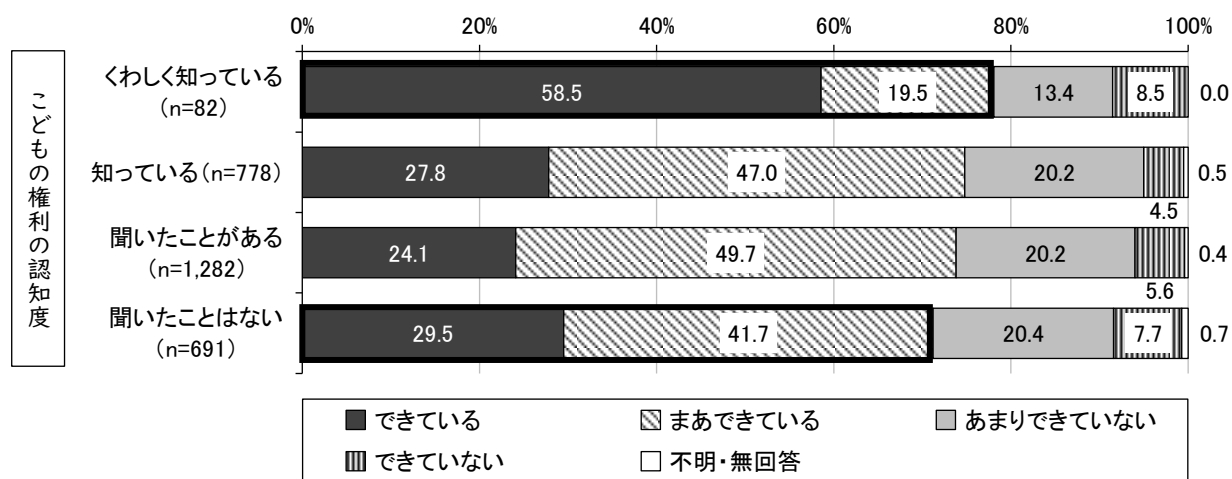
全体では「まあできている」が46.0%と割合が最も高く、次いで「できている」が27.4%、「あまりできていない」が20.0%となっています。



問3 こどもの権利の認知度×問8 自分の考えを相手にはっきり伝えることができるか

「こどもの権利」を「くわしく知っている」と回答した人は、自分の考えを相手にはっきり伝えることができるかについて「できている」（できている+まあできている）が78.0%と最も高い割合となっています。

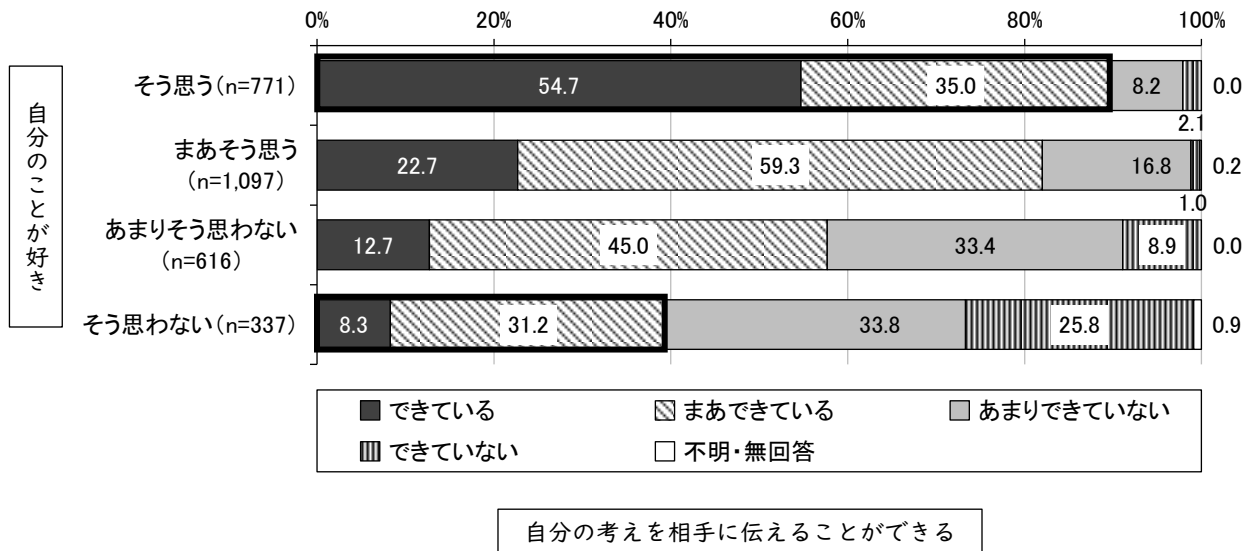
「こどもの権利の認知度」が高いほど、自分の考えを相手にはっきり伝えることが「できている」（できている+まあできている）割合が高くなっています。



自分の考えを相手に伝えることができる

問6 自分のことが好き×問8 自分の考えを相手にはっきり伝えることができるか

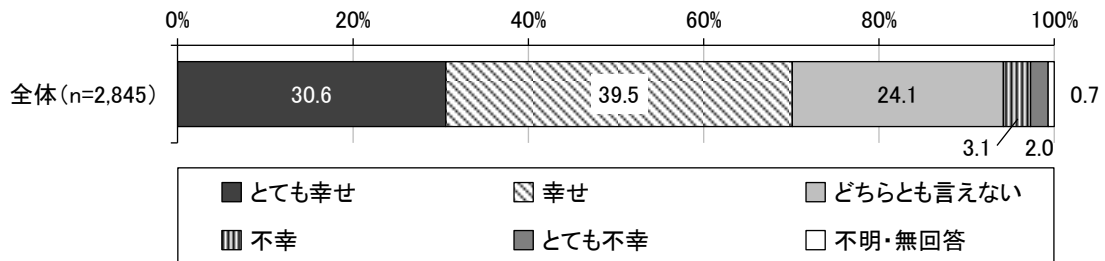
自分のことを好きだと「そう思う」では、自分の考えを相手に伝えることが「できている」（できている+まあできている）が89.7%と割合が高くなっており、自分のことが好きかに対して「そう思う」の低下に伴い、自分の考えを相手に伝えることが「できている」（できている+まあできている）の割合が低くなっています。



7 幸福度

問9 あなたは今、どのくらいの幸せを感じていますか。（1つを選ぶ）

全体では「幸せ」が39.5%と割合が最も高く、次いで「とても幸せ」が30.6%、「どちらとも言えない」が24.1%となっています。



コラム③：幸福度と満足度について

本調査では、こどもにとって、何が幸福度や満足度につながっているかを明らかにし、次の施策につなげていくために、幸福度や満足度の分析をしました。

調査の結果、幸福度が高いほど、家庭（P32）や学校（P37）、地域（P42）への満足度は高くなっています。

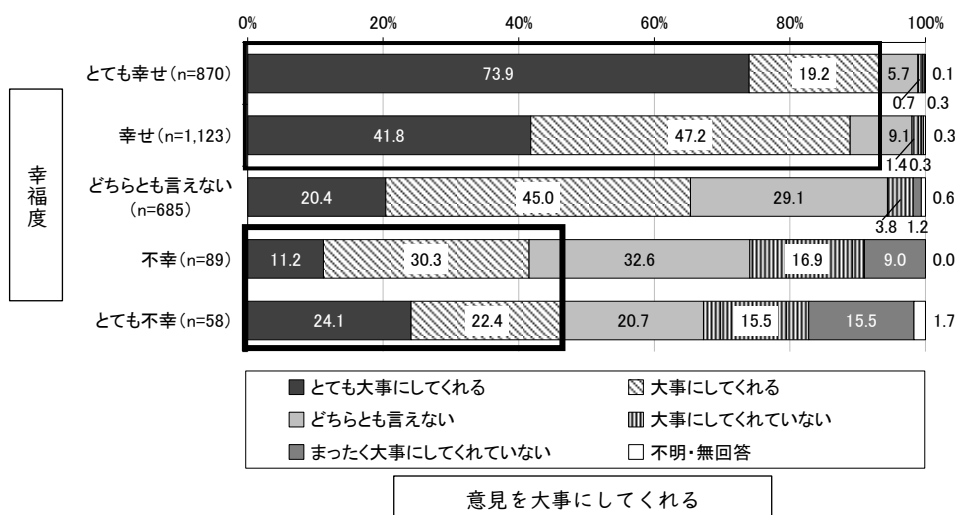
下記のグラフでは、「とても幸せ」や「幸せ」と回答したこどもの約90%が、「問15 あなたの家庭では、あなたのことを決めるとき、あなたの意見を聞いて大事にしてくれていると思いますか。」という質問に対して、「大事にしてくれる」（とても大事にしてくれる＋大事にしてくれる）と回答しました。

一方で、「不幸」や「とても不幸」と回答したこどもの約40%が「大事にしてくれる」（とても大事にしてくれる＋大事にしてくれる）と回答しました。

幸福度×学校の先生が意見を大切にしてくれるかのクロス集計の結果でも同じような傾向が見られます。（グラフは資料編 P0掲載）

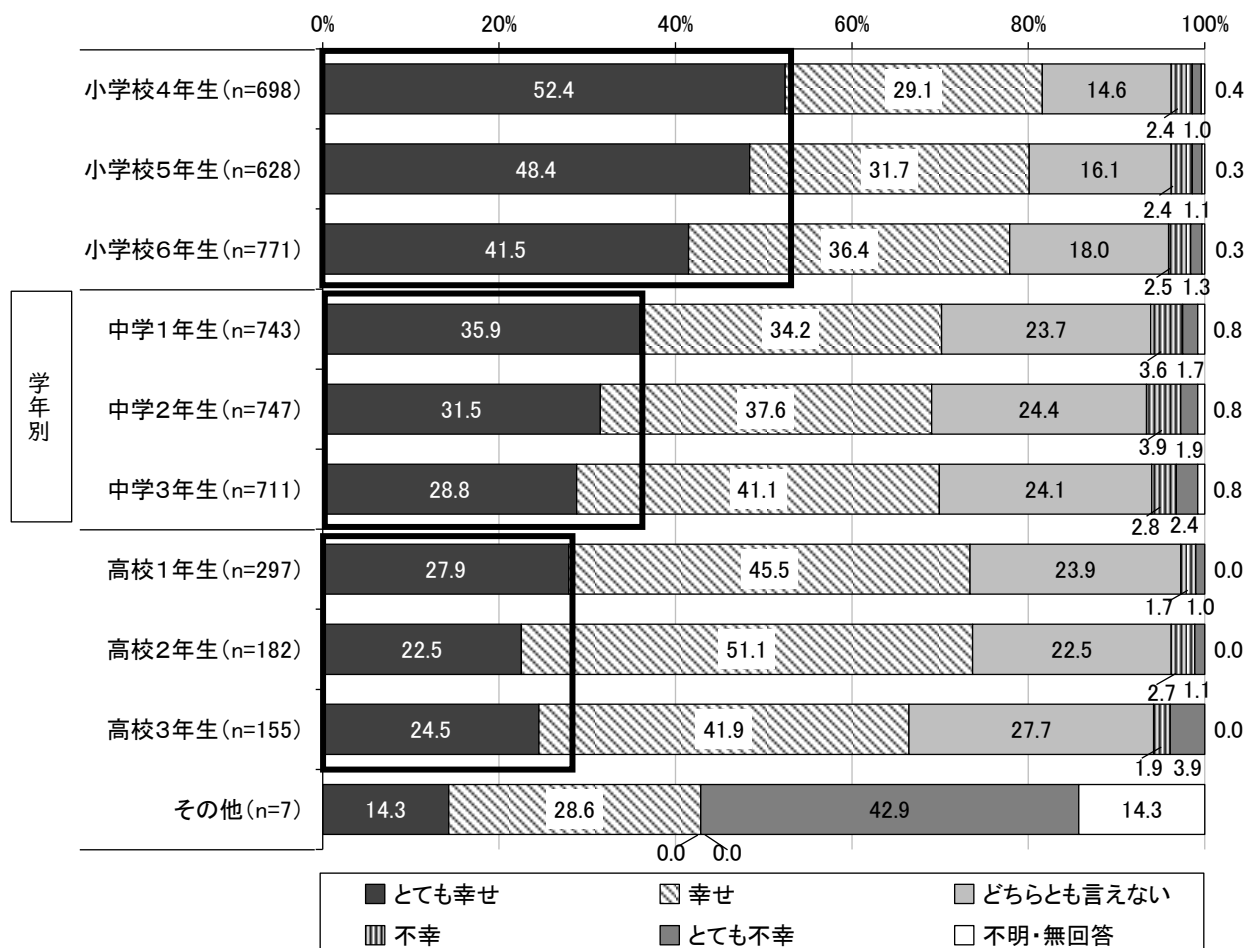
親や先生といった「大人」が意見を大事にしてくれることが幸福度の向上につながっていることが分かりました。

【問9 幸福度×問15 あなたの家庭ではあなたの意見を大事にしてくれるか。】



問2 学年別×問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）

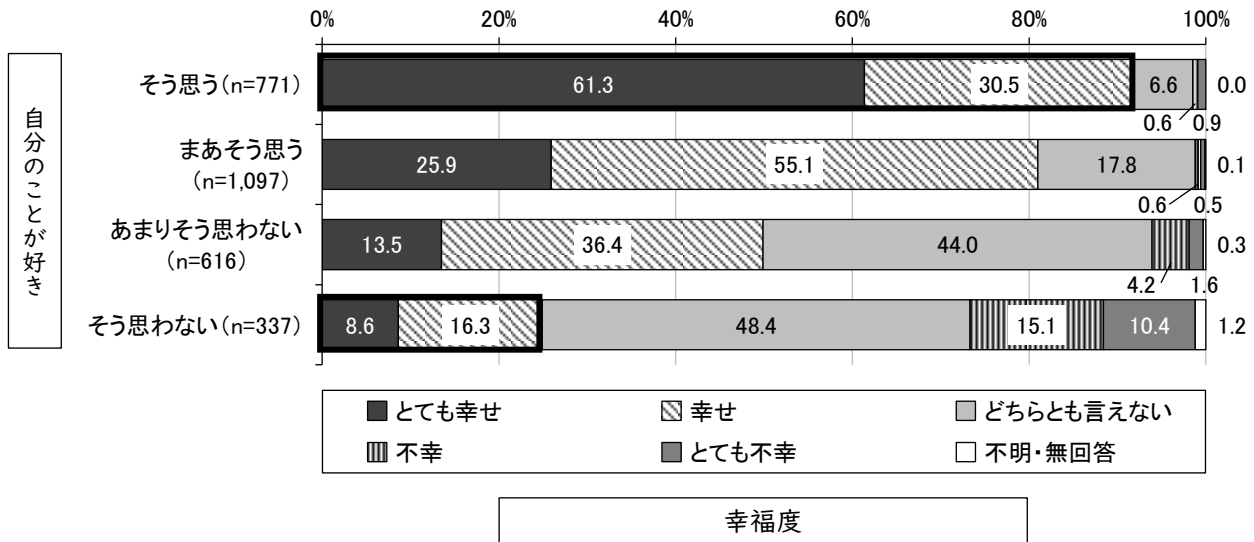
学年別でみると、小学校4～6年生・中学1年生は「とても幸せ」が、中学2～3年生・高校生は「幸せ」が割合として最も高い傾向となりました。小学生ほど「とても幸せ」の割合が高くなっています。



問6 自分のことが好き×問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）

自分のことを好きだと思っているに対して「そう思う」では、「幸せ」（とても幸せ+幸せ）が91.8%と高い割合となっています。

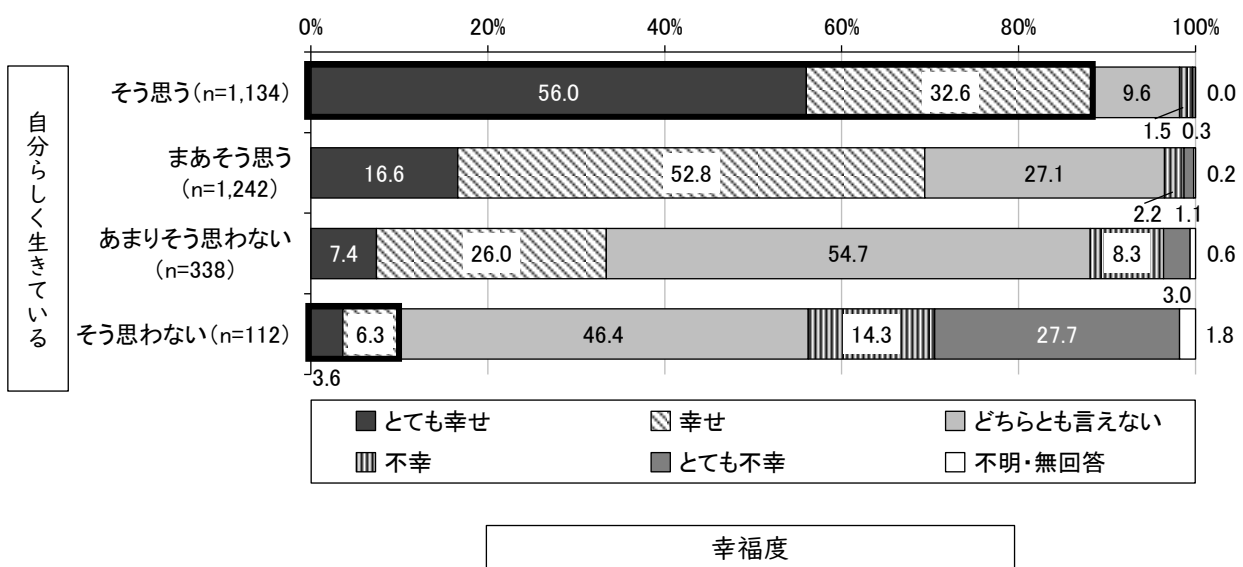
一方で、自分のことを好きだと思っていないほど「どちらとも言えない」の割合が増加し、「幸せ」（とても幸せ+幸せ）が低くなっています。



問7 自分らしく生きていると思う×問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）

自分らしく生きていると思うに対して「そう思う」では、「幸せ」（とても幸せ+幸せ）が88.6%と高い割合となっています。

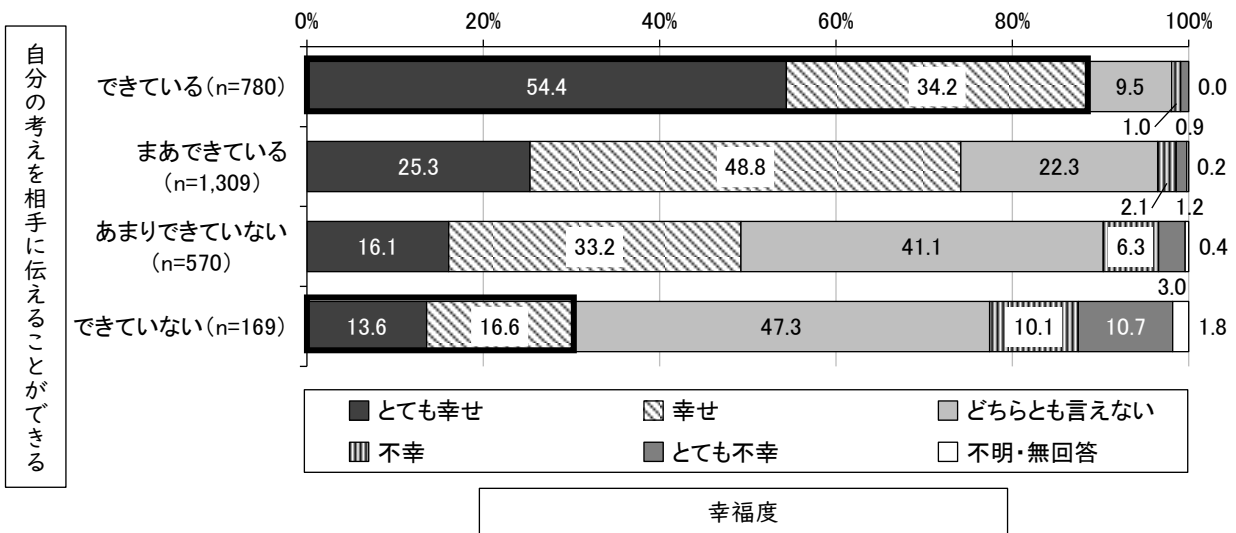
一方で、自分らしく生きていると思っていないほど「どちらとも言えない」の割合が増加し、「幸せ」（とても幸せ+幸せ）が低くなっています。



問8 自分の考えを相手にはっきり伝えることができるか×問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）

自分の考えを相手に伝えることが「できている」ほど「幸せ」（とても幸せ+幸せ）が88.6%と高い割合となっています。

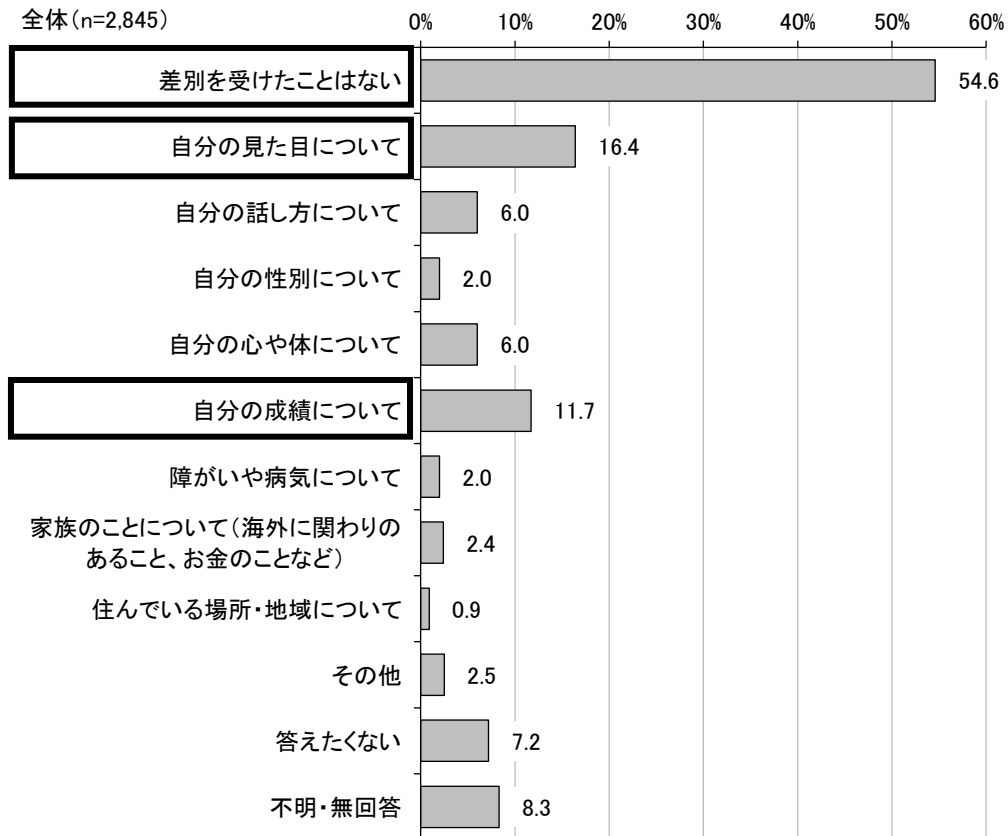
一方で、自分の考えを相手に伝えることが「できている」と思っていないほど「どちらとも言えない」の割合が増加し、「幸せ」（とても幸せ+幸せ）が低くなっています。



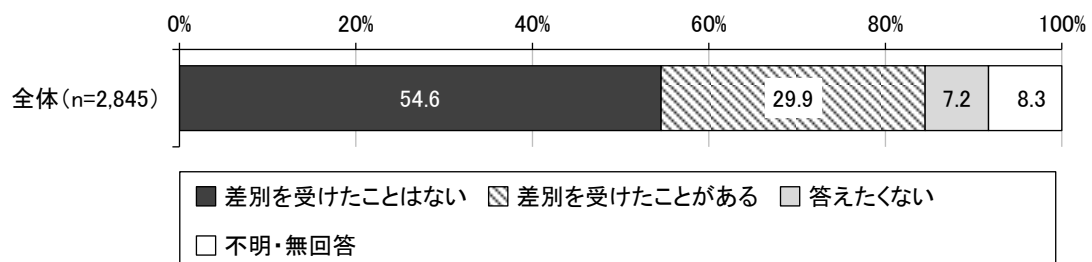
8 差別について

問 10 あなたは、以下のような理由で、差別を受けた（いやなことを言われたり、不当なあつかいをされたりした）と感じたことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「差別を受けたことはない」が 54.6%と割合が最も高く、次いで「自分の見た目について」が 16.4%、「自分の成績について」が 11.7%となっています。



参考：全体として「差別を受けたことはない」と回答した人は 54.6%、「差別を受けたことがある」と回答した人は 29.9%となっています。



問2 学年別×問10 差別を受けたと感じたこと

学年別でみると、すべての学年で「差別を受けたことはない」、「自分の見た目について」の割合が高く、この他小学校4～6年生、高校1年生は「答えたくない」、中学1年～3年生、高校2～3年生は「自分の成績について」の割合が高くなっています。

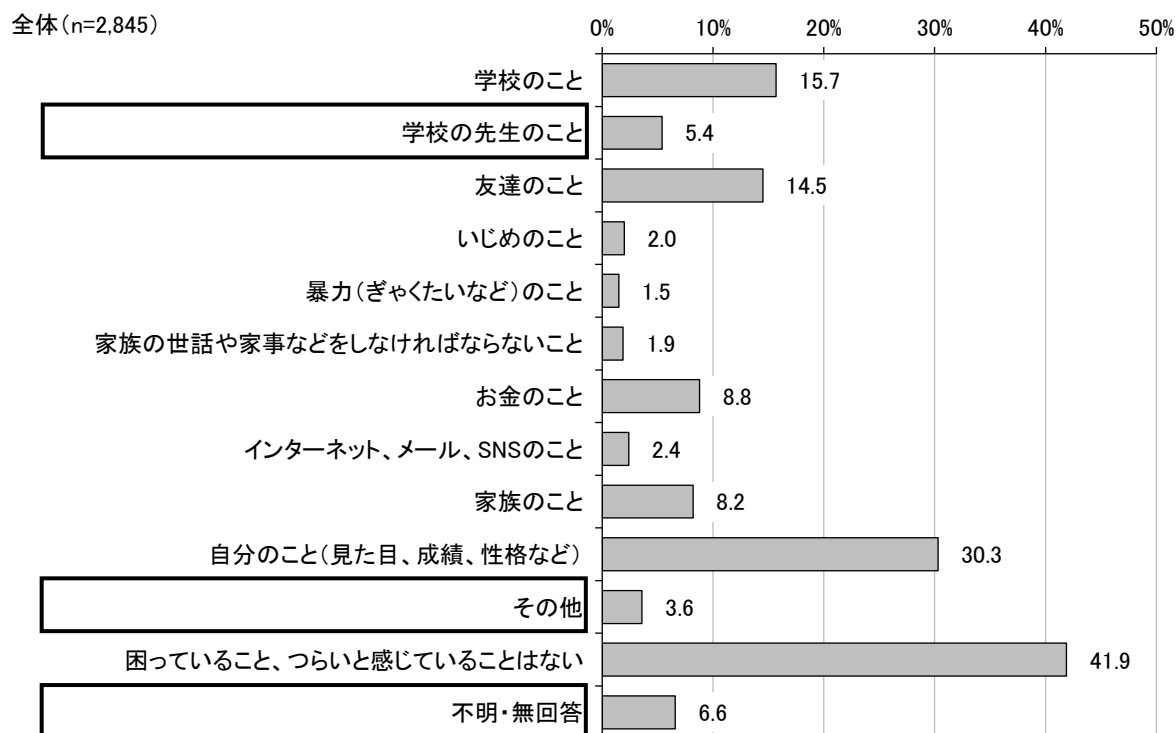
単位：%		差別を受けたことはない	自分の見た目について	自分の話し方について	自分の性別について	自分の心や体について	自分の成績について	障がいや病気について	家族のこと、お金のこと（海外に関わりがあること）	住んでいる場所・地域について	その他	答えたくない	不明・無回答
全体(n=2,845)		54.6	16.4	6.0	2.0	6.0	11.7	2.0	2.4	0.9	2.5	7.2	8.3
学年	小学校4年生(n=698)	44.4	10.9	8.9	1.9	8.2	6.0	2.6	3.2	2.3	6.2	15.2	8.6
	小学校5年生(n=628)	43.8	14.3	7.3	2.5	7.2	6.4	2.4	2.2	1.9	5.1	15.6	8.4
	小学校6年生(n=771)	45.5	15.6	8.0	2.1	9.3	7.8	2.2	3.0	0.6	3.8	11.2	7.4
	中学1年生(n=743)	51.4	14.4	5.8	2.7	4.6	12.7	2.3	2.8	0.5	3.2	8.7	9.3
	中学2年生(n=747)	51.0	18.9	7.4	2.3	8.6	12.9	1.9	2.3	1.1	2.8	7.9	8.7
	中学3年生(n=711)	55.6	18.3	6.3	2.0	6.6	13.6	2.1	2.4	0.4	1.8	5.9	7.5
	高校1年生(n=297)	62.3	10.8	3.0	0.7	3.7	7.4	0.7	2.7	0.7	1.3	7.7	7.4
	高校2年生(n=182)	55.5	15.9	4.9	1.1	4.4	6.6	2.7	1.1	2.2	2.7	6.0	9.3
	高校3年生(n=155)	67.1	16.1	5.2	1.3	4.5	6.5	2.6	1.9	1.9	1.3	3.9	5.2
	その他(n=7)	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0

※選択肢「差別を受けたことはない」の、小学校高学年調査での選択肢は「いやな気持ちやしんどくなったことはない」。

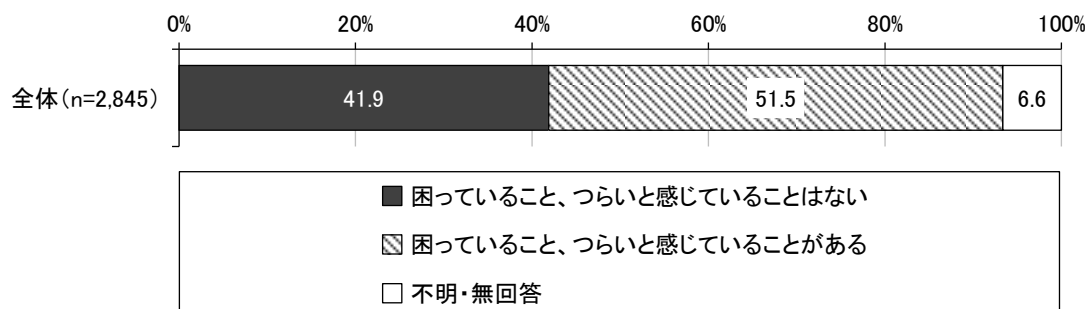
9 困っていること・相談相手

問11 あなたは今、困っていること、つらいと感じていることはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「困っていること、つらいと感じていることはない」が41.9%と割合が最も高く、次いで「自分のこと（見た目、成績、性格など）」が30.3%、「学校のこと」が15.7%となっています。



参考：全体として「困っていること、つらいと感じていることはない」と回答した人は41.9%、「困っていること、つらいと感じていることがある」が51.5%となっています。



問1 性別、問2 学年別×問11 困っていること、つらいと感じていること

性別では男性、女性ともに「困っていること、つらいと感じていることはない」の割合が最も高くなりました。一方、その他では上位3つの選択肢から「困っていること、つらいと感じていることはない」は外れており、「自分のこと（見た目、成績、性格など）」の割合が最も高くなっています。

学年別でみると、全体として「困っていること、つらいと感じていることはない」の割合が高くなっており、この他、小学校4～6年生は「友達のこと」、中学生・高校生は「自分のこと（見た目、成績、性格など）」があげられています。

単位：%		学校のこと	学校の先生のこと	友達のこと	いじめのこと	暴力（ぎゃくたいなど）のこと	家族の世話や家事などをしなければならぬこと	お金のこと	インターネット、メール、SNSのこと	家族のこと	自分のこと（見た目、成績、性格など）	その他	困っていること、つらいと感じていることはない	不明・無回答
全体 (n=2,845)		15.7	5.4	14.5	2.0	1.5	1.9	8.8	2.4	8.2	30.3	3.6	41.9	6.6
性別	男性 (n=1,380)	13.2	4.4	9.6	2.0	1.6	1.7	10.3	2.3	6.5	22.2	4.6	46.3	7.6
	女性 (n=1,358)	16.7	5.7	18.7	1.5	1.0	1.9	6.6	2.2	9.0	36.9	2.4	39.0	5.7
	その他 (n=88)	39.8	15.9	27.3	10.2	8.0	6.8	18.2	5.7	22.7	55.7	8.0	17.0	3.4
学年	小学校4年生 (n=698)	10.3	3.2	12.0	6.9	5.0	2.0	4.2	1.1	6.2	11.9	2.1	50.7	8.7
	小学校5年生 (n=628)	10.5	5.1	13.7	4.8	3.7	2.2	3.8	1.8	6.1	13.7	2.5	50.0	8.6
	小学校6年生 (n=771)	11.3	7.0	15.4	3.2	2.6	2.3	3.6	1.7	6.7	13.4	3.4	49.3	9.2
	中学1年生 (n=743)	15.1	5.5	16.3	2.3	2.3	2.4	7.3	1.9	7.4	28.0	3.6	42.7	7.4
	中学2年生 (n=747)	17.5	6.6	17.3	2.5	1.5	1.9	11.0	2.9	8.6	26.1	2.5	39.9	8.6
	中学3年生 (n=711)	16.9	6.8	14.6	2.1	1.5	1.5	7.7	2.7	10.5	34.0	4.4	41.9	5.5
	高校1年生 (n=297)	13.1	2.0	10.1	0.7	0.3	1.3	6.7	1.0	3.7	27.6	2.4	49.5	4.7
	高校2年生 (n=182)	9.3	2.7	11.5	0.0	0.0	1.6	8.2	2.2	6.0	45.6	4.4	32.4	5.5
	高校3年生 (n=155)	13.5	1.3	3.9	1.3	0.6	1.9	12.3	2.6	9.0	29.7	5.2	47.1	3.9
	その他 (n=7)	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	57.1	14.3	28.6	42.9	28.6	14.3	0.0

小学校低学年（数値は集計中）

問8 あなたは、今困っていることはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

単位：%		友達の こと	家族の こと	勉強の こと	この他 のこと	と困っ てない こと	不明・ 無回答
全体(n=4)		40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	100.0
学 年	小学校1年生(n=200)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	小学校2年生(n=300)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	小学校3年生(n=400)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0

コラム④：困っていること、つらいと感じて「いる」か「いない」か

本調査で、困っていることやつらいと感じていない人は、自己肯定感（自分のことが好き、自分らしく生きている）が高く、自分の考えを相手に伝えることがうまくできており、幸福度も高いことが分かりました。

一方で、困っていることやつらいと感じている人は、多くの設問で「自分のこと（見た目、成績、性格など）」と答える割合が高くみられました。

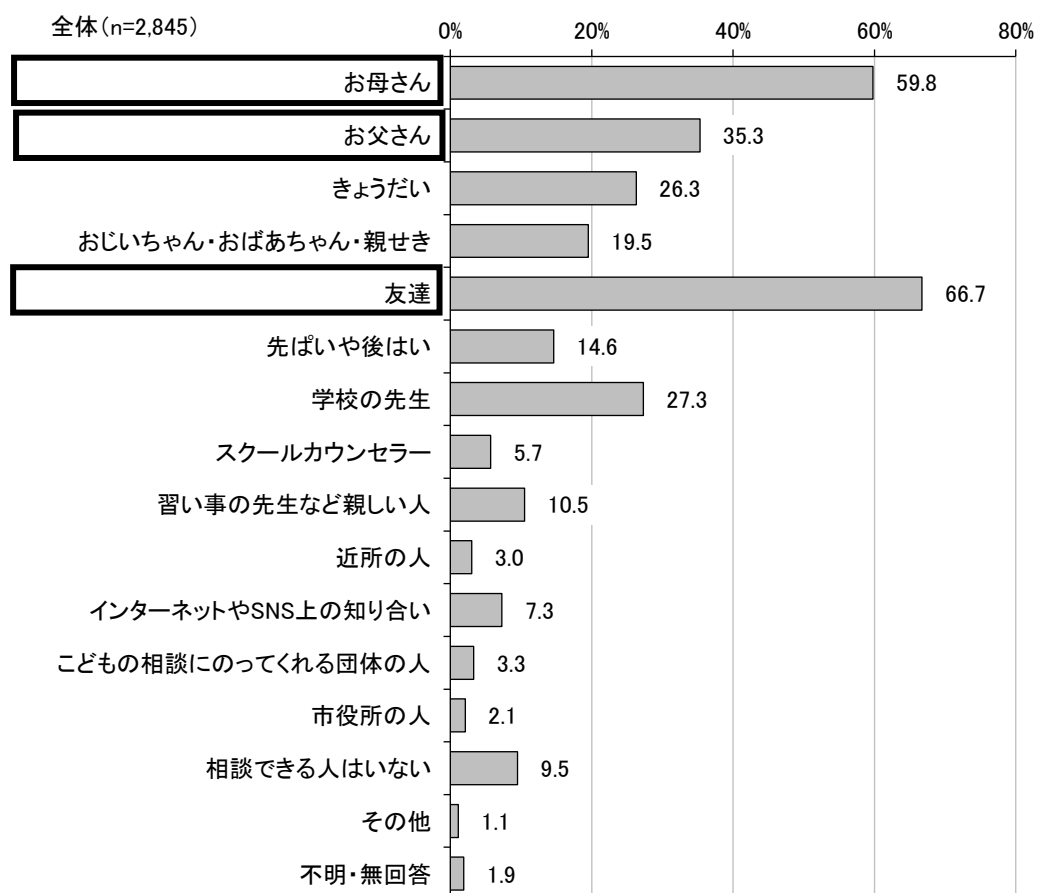
こうした困っていること、つらいと感じている原因に対して、取り組みを進めていくことで、子どもたち自身の自己肯定感や自分の考えを相手に伝えることができ、幸福度の向上につながっていくと考えられます。

【問6 自分のことが好き・問7自分らしく生きていると思う・問8自分の考えを相手に伝えることができているか・問9今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）×問11 困っていること、つらいと感じていること】

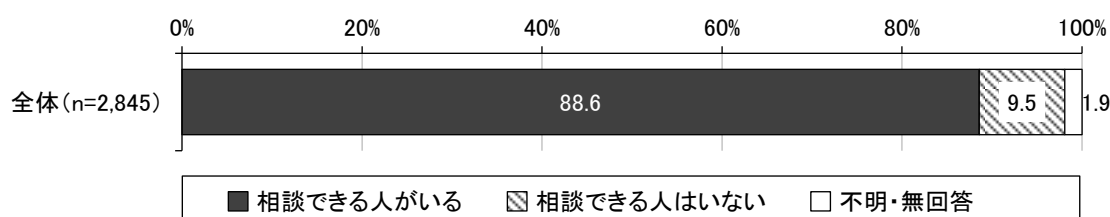
単位：%		学校のこと	学校の先生のこと	友達のこと	いじめのこと	暴力（ぎゃくたいなど）	家族の世話や家事など	お金のこと	インターネットのこと	家族のこと	自分（見た目、成績、性格など）	その他	困っていること、つらいと感じていること	不明・無回答
全体 (n=2,845)		15.7	5.4	14.5	2.0	1.5	1.9	8.8	2.4	8.2	30.3	3.6	41.9	6.6
自分のことが好き	そう思う (n=771)	10.6	4.2	8.3	1.6	1.6	1.8	8.2	2.9	5.1	17.8	4.9	52.3	7.9
	まあそう思う (n=1,097)	9.4	3.6	10.0	1.3	0.9	1.0	7.0	1.4	5.2	25.0	2.8	50.4	6.0
	あまりそう思わない (n=616)	20.6	6.5	20.9	1.5	1.0	2.3	8.4	1.3	10.2	39.8	2.8	28.7	6.3
	そう思わない (n=337)	39.2	12.2	32.3	6.2	4.2	4.5	16.9	6.5	21.4	59.6	4.2	16.3	3.3
自分らしく生きている	そう思う (n=1,134)	10.4	4.3	9.0	1.1	1.3	1.7	7.8	1.9	4.1	18.5	3.3	53.8	7.5
	まあそう思う (n=1,242)	13.1	4.4	13.8	1.9	0.9	1.2	7.7	2.1	7.6	33.7	3.3	41.5	6.0
	あまりそう思わない (n=338)	29.9	10.1	26.9	3.3	2.1	3.8	13.3	3.3	18.3	48.5	3.6	16.3	5.3
	そう思わない (n=112)	55.4	14.3	42.0	8.0	8.0	7.1	18.8	8.0	25.0	58.9	9.8	8.0	0.9
自分の考えを相手に伝えられるか	できている (n=780)	10.1	3.7	7.4	1.0	1.2	1.4	7.7	1.3	5.3	18.2	3.3	54.4	7.6
	まあできている (n=1,309)	11.6	4.5	11.9	1.1	0.8	1.2	8.1	2.1	5.7	29.2	3.5	45.0	6.2
	あまりできていない (n=570)	23.9	7.0	24.4	3.7	2.6	3.2	10.2	3.3	13.9	43.0	3.2	27.4	6.3
	できていない (n=169)	45.0	14.2	34.9	7.7	4.7	5.9	14.8	5.9	21.3	52.7	6.5	11.8	3.0
幸福度	とても幸せ (n=870)	7.4	3.7	7.8	0.8	0.7	1.3	7.0	1.1	2.9	18.3	2.9	56.8	7.9
	幸せ (n=1,123)	10.7	3.2	10.4	1.2	0.8	1.3	6.9	2.4	5.3	27.3	3.5	47.1	6.6
	どちらとも言えない (n=685)	26.3	7.6	23.5	2.2	1.8	2.5	10.7	1.9	13.6	45.4	4.2	23.5	4.5
	不幸 (n=89)	51.7	24.7	43.8	11.2	6.7	6.7	23.6	10.1	40.4	57.3	2.2	1.1	3.4
	とても不幸 (n=58)	56.9	20.7	43.1	19.0	15.5	8.6	29.3	12.1	29.3	53.4	8.6	8.6	1.7

問 12 あなたが、困っていること、つらいと感じていることがあるときに、相談できる人はだれですか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「友達」が66.7%と割合が最も高く、次いで「お母さん」が59.8%、「お父さん」が35.3%となっています。



参考：全体として「相談できる人がいる」と回答した人は88.6%、「相談できる人はいない」が9.5%となっています。



問1 性別・問2 学年別×問12 相談できる人

困っていることを相談できる人について性別でみると、男性、女性、その他の共通では「友達」、「お母さん」となっており、身内や友達の割合が高い一方で、「その他」では「相談できる人はいない」の割合が「男性」、「女性」よりも高くなっています。

学年別では、小学校4～6年生で「お母さん」、中学生・高校生で「友達」が最も高い割合となっており、学年があがるにつれて、「相談できる人はいない」の割合がおおむね高くなっています。

単位：%		お母さん	お父さん	きょうだい	おじいちゃん・おばあちゃん・親せき	友達	先ばいや後はい	学校の先生	スクールカウンセラー	習い事の先生など親しい人	近所の人	インターネットやSNS上の知り合い	こどもの相談にのってくれる団体の人	市役所の人	相談できる人はいない	その他	不明・無回答
全体(n=2,845)		59.8	35.3	26.3	19.5	66.7	14.6	27.3	5.7	10.5	3.0	7.3	3.3	2.1	9.5	1.1	1.9
性別	男性(n=1,380)	61.5	45.1	25.9	23.6	68.3	17.2	33.1	7.0	11.7	4.2	7.1	4.3	3.3	9.0	1.2	2.1
	女性(n=1,358)	60.2	27.2	27.6	16.2	67.2	12.5	22.4	4.4	9.8	1.5	7.1	2.2	0.8	8.8	0.7	1.5
	その他(n=88)	25.0	8.0	15.9	10.2	39.8	8.0	14.8	6.8	5.7	5.7	17.0	6.8	2.3	28.4	5.7	2.3
学年	小学校4年生(n=698)	80.5	57.4	33.8	34.4	56.3		44.8	9.6	11.9	5.0	3.0	5.9	4.7	3.2	2.6	1.9
	小学校5年生(n=628)	73.1	51.3	30.3	33.8	60.7		41.1	7.6	11.9	6.2	5.1	6.8	4.6	5.9	1.1	1.3
	小学校6年生(n=771)	70.2	46.7	32.6	31.0	64.1		39.3	6.7	9.5	4.7	5.7	4.5	3.9	6.0	1.9	1.4
	中学1年生(n=743)	61.4	39.0	28.1	23.3	65.5	18.3	29.7	9.2	12.4	3.8	6.1	5.9	3.4	9.3	1.3	1.1
	中学2年生(n=747)	61.3	39.5	28.2	24.4	70.7	16.7	32.1	6.6	11.1	3.7	8.4	3.3	2.0	9.2	0.7	1.9
	中学3年生(n=711)	60.3	30.8	25.9	17.3	69.5	11.4	27.8	4.4	11.8	3.0	8.9	3.1	2.0	8.3	1.0	2.7
	高校1年生(n=297)	53.9	29.3	21.5	11.4	58.2	12.8	16.5	2.4	5.4	1.0	5.7	0.7	0.3	10.8	1.0	2.0
	高校2年生(n=182)	52.7	28.6	24.7	12.1	63.7	9.3	16.5	1.6	6.6	0.5	4.9	0.0	0.5	11.0	2.2	2.7
	高校3年生(n=155)	62.6	37.4	20.6	12.3	62.6	11.0	25.2	1.9	7.1	0.6	6.5	0.6	1.3	12.9	0.6	0.6
	その他(n=7)	42.9	42.9	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0

※小学校高学年調査では、選択肢「先ばいや後はい」はない。

選択肢「習い事の先生など親しい人」の、小学校高学年調査での選択肢は「習い事の先生」。

小学校低学年（数値は集計中）

問9 あなたは、困っていることを、だれに聞いてもらいますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

単位：%		うん、おだ、ういおちの父のさん（おきよさ）	友達	学校の先生	この他の人	いない	不明・無回答
全体(n=4)		40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	100.0
学年	小学校1年生(n=200)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	小学校2年生(n=300)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	小学校3年生(n=400)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0

コラム⑤：困っていることを相談できる相手はある？

コラム④で、困っていることやつらいと感じている人の原因は何かというと、多くの設問で「自分のこと（見た目、成績、性格など）」、「学校のこと」、「友達のこと」が高く上げられていることが分かりました。

子どもたちが困っていること、つらいことを相談できる人について調査した結果、相談する相手は「友達」や「お母さん」、「お父さん」といった回答が全体的に高くなっており、多くの人は相談できる人がいるようです。

ただ、自己肯定感が低い人、自分の考えを相手に伝えることができていない人、幸福度が低い人は「相談できる人はいない」の割合が高くなる傾向がみられました。

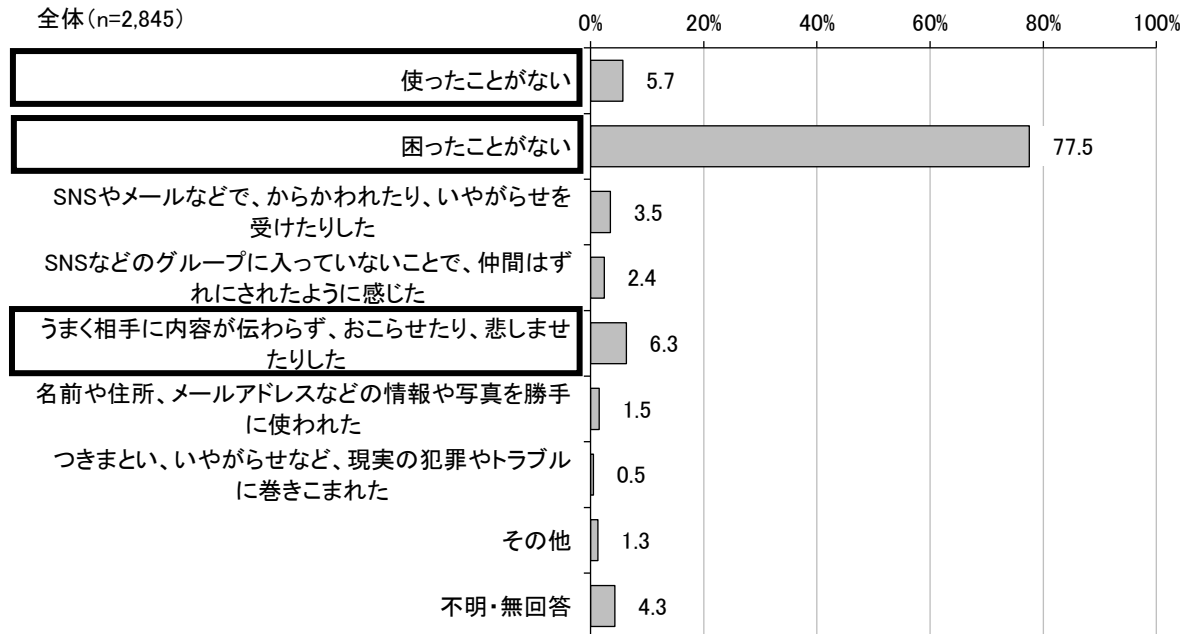
「相談できる人はいない」の数値の改善が求められています。

【問6 自分のことが好き・問7自分らしく生きていると思う・問8自分の考えを相手に伝えることができているか・問9今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）×問12 相談できる人】

単位：%		お母さん	お父さん	きょうだい	おじいちゃん・おばあちゃん・親せき	友達	先ばいやははい	学校の先生	スクールカウンセラー	習い事の先生など親しい人	近所の人	インターネットやSNS上の知り合い	こどもの相談にのってくれる団体の人	市役所の人	相談できる人はいない	その他	不明・無回答
全体 (n=2,845)		59.8	35.3	26.3	19.5	66.7	14.6	27.3	5.7	10.5	3.0	7.3	3.3	2.1	9.5	1.1	1.9
好き 自分のことが	そう思う (n=771)	70.7	49.3	35.0	28.5	74.7	21.7	35.0	8.3	15.2	4.5	7.5	5.4	3.6	5.1	0.8	0.8
	まあそう思う (n=1,097)	66.9	39.3	27.3	20.2	70.6	13.5	29.4	4.8	11.5	3.0	6.8	3.5	1.7	5.1	0.9	1.6
	あまりそう思わない (n=616)	49.7	23.1	21.1	12.8	62.7	12.2	21.6	4.1	6.5	1.1	6.3	1.3	0.8	13.3	1.1	1.8
	そう思わない (n=337)	32.6	14.2	12.8	9.5	46.9	7.1	15.1	5.6	4.5	2.4	10.4	2.1	2.1	27.3	2.1	2.4
生 自分らしく	そう思う (n=1,134)	71.2	46.8	32.3	27.7	73.5	19.4	34.7	7.7	13.8	4.3	7.2	4.5	3.4	4.9	1.0	1.0
	まあそう思う (n=1,242)	58.1	31.9	24.6	15.8	68.1	12.2	25.7	4.5	9.2	2.3	6.9	2.9	1.0	9.2	1.0	2.0
	あまりそう思わない (n=338)	40.5	16.6	16.9	9.2	53.3	10.9	13.6	3.3	6.5	0.6	7.1	0.6	0.6	19.2	1.2	1.5
	そう思わない (n=112)	28.6	17.9	15.2	11.6	33.9	7.1	17.0	6.3	5.4	3.6	14.3	5.4	4.5	31.3	1.8	3.6
に 自分の考えを相手に	できている (n=780)	70.9	48.6	33.8	29.6	76.4	22.1	34.9	8.3	15.5	5.3	6.9	4.7	3.5	4.2	1.5	1.3
	まあできている (n=1,309)	61.4	35.4	26.9	17.6	69.0	12.6	27.0	4.7	9.2	2.5	7.3	3.3	1.7	8.1	0.7	1.8
	あまりできていない (n=570)	50.5	24.4	19.5	14.7	58.1	11.1	22.3	4.4	8.2	1.2	8.1	1.8	0.9	13.5	0.9	1.4
	できていない (n=169)	31.4	12.4	11.8	5.3	39.6	9.5	14.8	6.5	5.9	1.8	8.3	3.0	3.0	31.4	2.4	1.8
幸福度	とても幸せ (n=870)	75.3	49.9	35.9	31.1	77.7	22.2	38.2	8.5	16.1	4.8	6.9	5.1	3.2	2.9	0.9	0.8
	幸せ (n=1,123)	65.2	38.3	27.7	18.7	69.9	12.7	26.9	4.5	9.4	1.9	5.8	2.9	1.7	5.9	0.8	1.7
	どちらとも言えない (n=685)	39.6	16.6	15.0	8.6	54.9	10.1	18.0	4.1	6.7	2.0	8.9	1.6	0.9	19.4	1.2	2.2
	不幸 (n=89)	31.5	20.2	9.0	5.6	41.6	3.4	12.4	5.6	2.2	2.2	15.7	3.4	1.1	29.2	3.4	2.2
	とても不幸 (n=58)	20.7	13.8	20.7	17.2	37.9	13.8	17.2	8.6	8.6	8.6	13.8	6.9	8.6	34.5	3.4	0.0

問 13 あなたは、インターネットや SNS を使っていて、困ったことがありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「困ったことがない」が 77.5%と割合が最も高く、次いで「うまく相手に内容が伝わらず、おこらせたり、悲しませたりした」が 6.3%、「使ったことがない」が 5.7%となっています。



問2 学年別×問13 インターネットやSNSを使っていて困ったこと

学年別でみると「困ったことがない」がどの学年も最も割合が高くなっています。

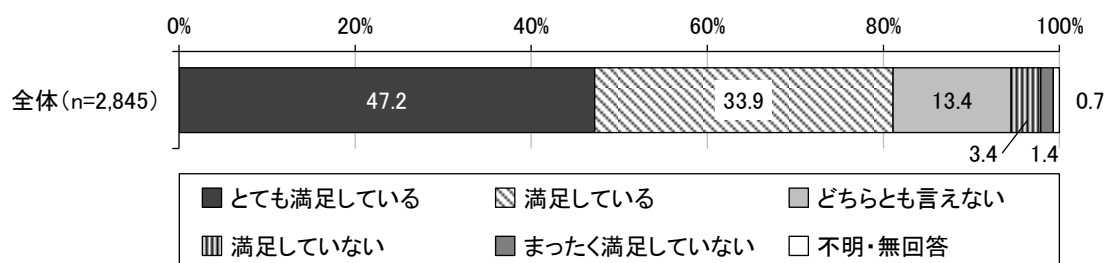
小学校4年生～中学2年生では「使ったことがない」、中学3年生～高校3年生では「うまく相手に内容が伝わらず、おこらせたり、悲しませたりした」が高い割合となっています。

単位：%		使ったことがない	困ったことがない	使ったことがないが、SNSやメールなどを使って、かえって困ったことがない	使ったことがないが、SNSやメールなどを使って、かえって困ったことがない	使ったことがないが、SNSやメールなどを使って、かえって困ったことがない	使ったことがないが、SNSやメールなどを使って、かえって困ったことがない	使ったことがないが、SNSやメールなどを使って、かえって困ったことがない	使ったことがないが、SNSやメールなどを使って、かえって困ったことがない	その他	不明・無回答
全体 (n=2,845)		5.7	77.5	3.5	2.4	6.3	1.5	0.5	1.3	4.3	
学年	小学校4年生 (n=698)	38.7	52.7	1.7	0.1	0.4	0.3	1.1	2.0	3.4	
	小学校5年生 (n=628)	26.9	60.0	2.5	1.3	3.0	0.2	1.0	1.9	4.8	
	小学校6年生 (n=771)	18.3	69.0	2.3	1.6	3.6	0.5	0.5	2.3	3.5	
	中学1年生 (n=743)	6.7	78.1	3.0	1.9	5.0	1.1	0.4	2.2	3.6	
	中学2年生 (n=747)	6.3	74.7	4.4	3.5	5.9	1.5	0.4	1.6	5.5	
	中学3年生 (n=711)	5.1	76.7	4.8	2.8	8.0	1.4	0.7	0.3	4.2	
	高校1年生 (n=297)	5.4	81.5	1.3	1.3	6.4	1.0	0.7	0.3	3.0	
	高校2年生 (n=182)	2.2	80.8	1.6	1.1	5.5	2.2	0.5	1.6	6.6	
	高校3年生 (n=155)	4.5	83.2	1.9	1.3	7.1	3.9	0.0	0.0	0.6	
その他 (n=7)		0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	

10 家庭、学校生活、地域について

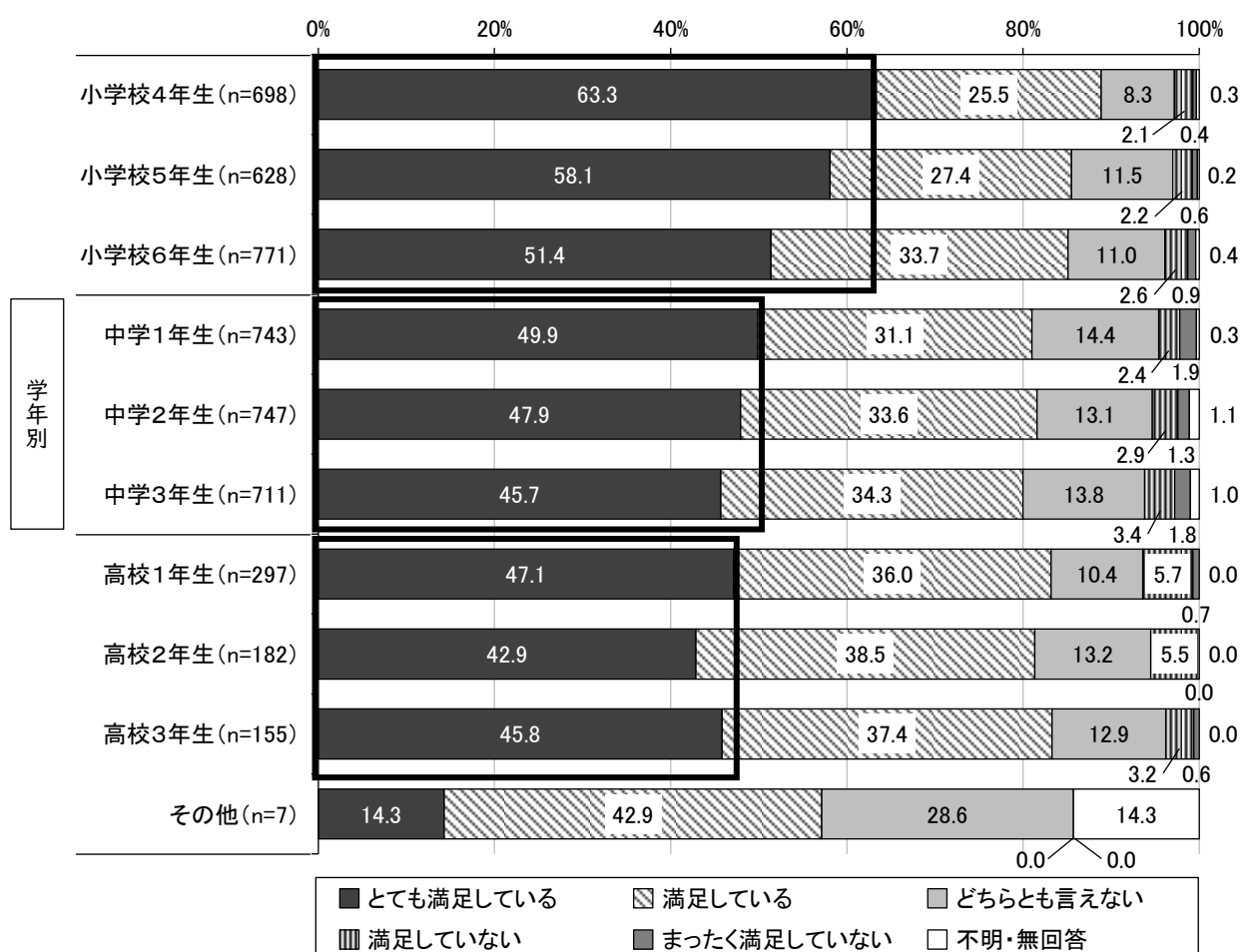
問 14 あなたは、自分の家庭に満足していますか。（1つを選ぶ）

全体では「とても満足している」が47.2%と割合が最も高く、次いで「満足している」が33.9%、「どちらとも言えない」が13.4%となっています。



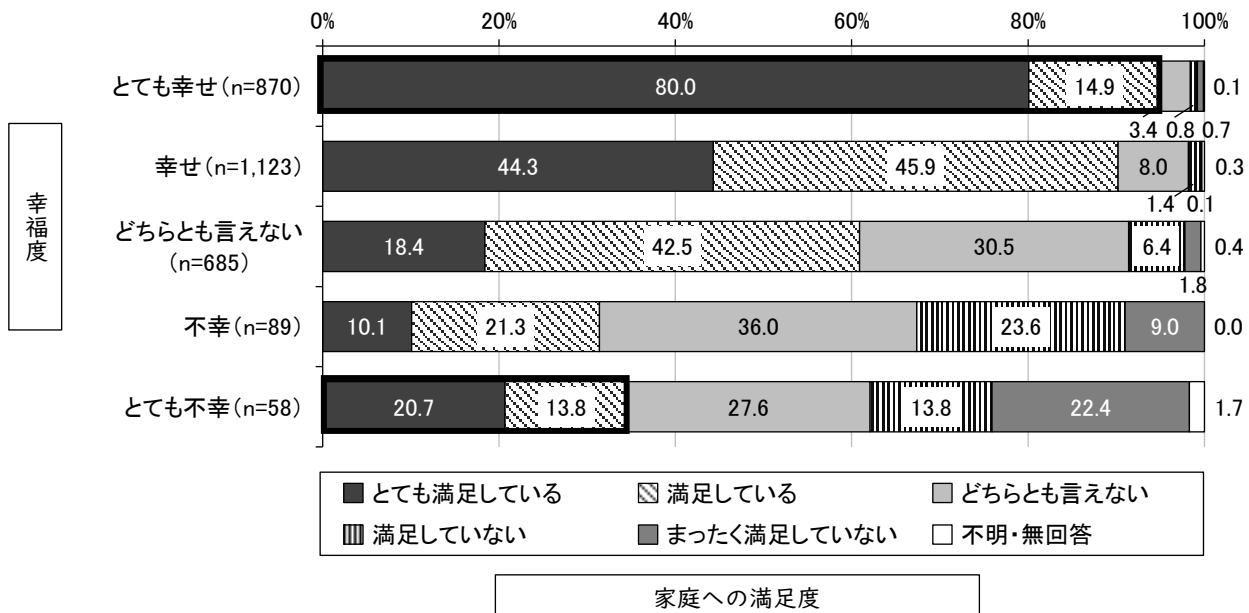
問 2 学年別×問 14 家庭への満足度

自分の家庭に満足しているかを学年別でみると、すべての学年で「とても満足している」の割合が最も高くなっている一方、学年が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。



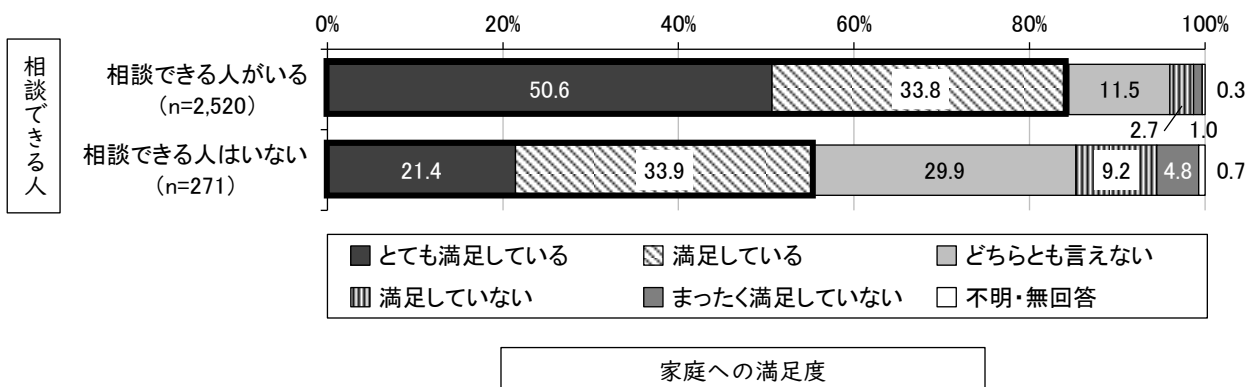
問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）×問14 家庭への満足度

「とても幸せ」と感じている人は、家庭に対して「満足している」（とても満足している+満足している）が94.9%と割合が最も高くなっており、幸福度の低下に伴い家庭への満足度も低くなる傾向がみられます。しかし、「とても不幸」では「不幸」よりも「満足している」（とても満足している+満足している）の割合が高くなっています。



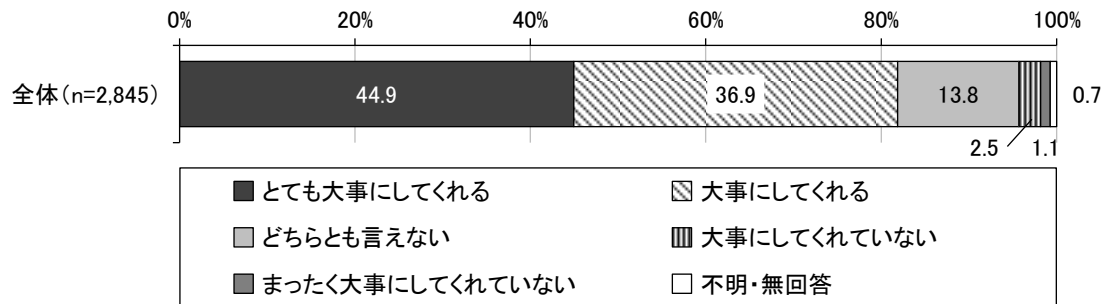
問12 相談できる人×問14 家庭への満足度

「相談できる人がいる」は、家庭に「満足している」（とても満足している+満足している）が84.4%と「相談できる人はいない」の55.3%よりも29ポイント以上高くなっています。



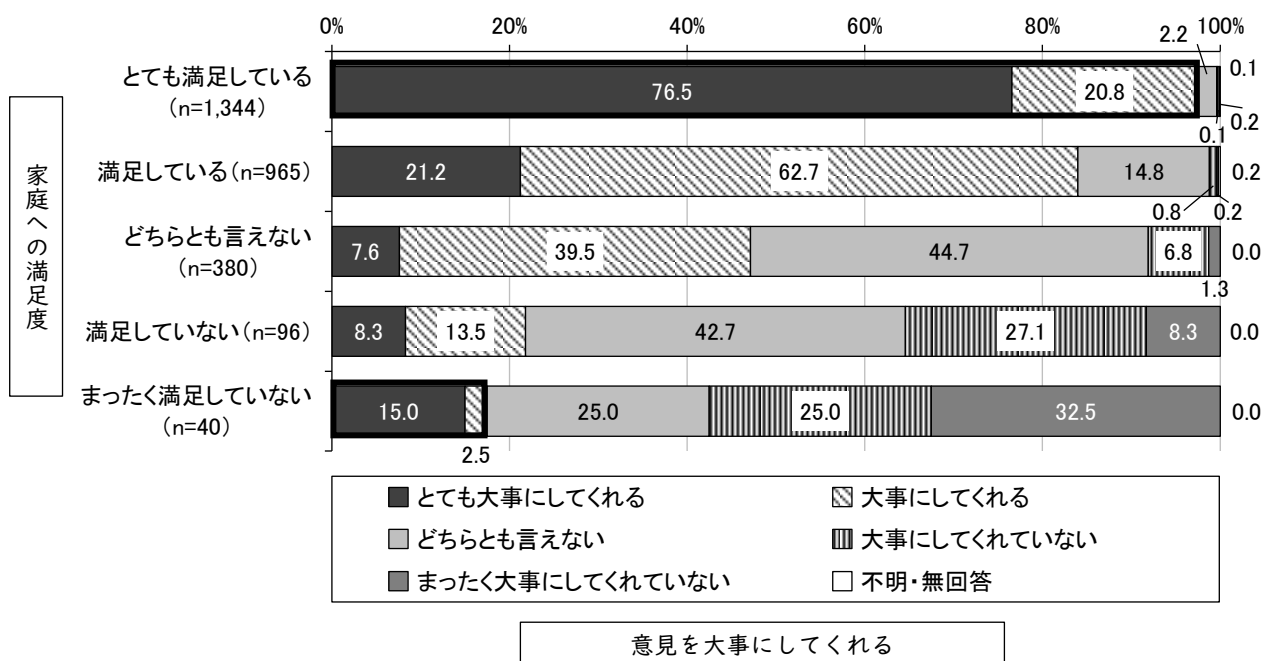
問 15 あなたの家庭では、あなたのことを決めるとき、あなたの意見を聞いて大事にしてくれていると思いますか。（1つを選ぶ）

全体では「とても大事にしてくれる」が44.9%と割合が最も高く、次いで「大事にしてくれる」が36.9%、「どちらとも言えない」が13.8%となっています。



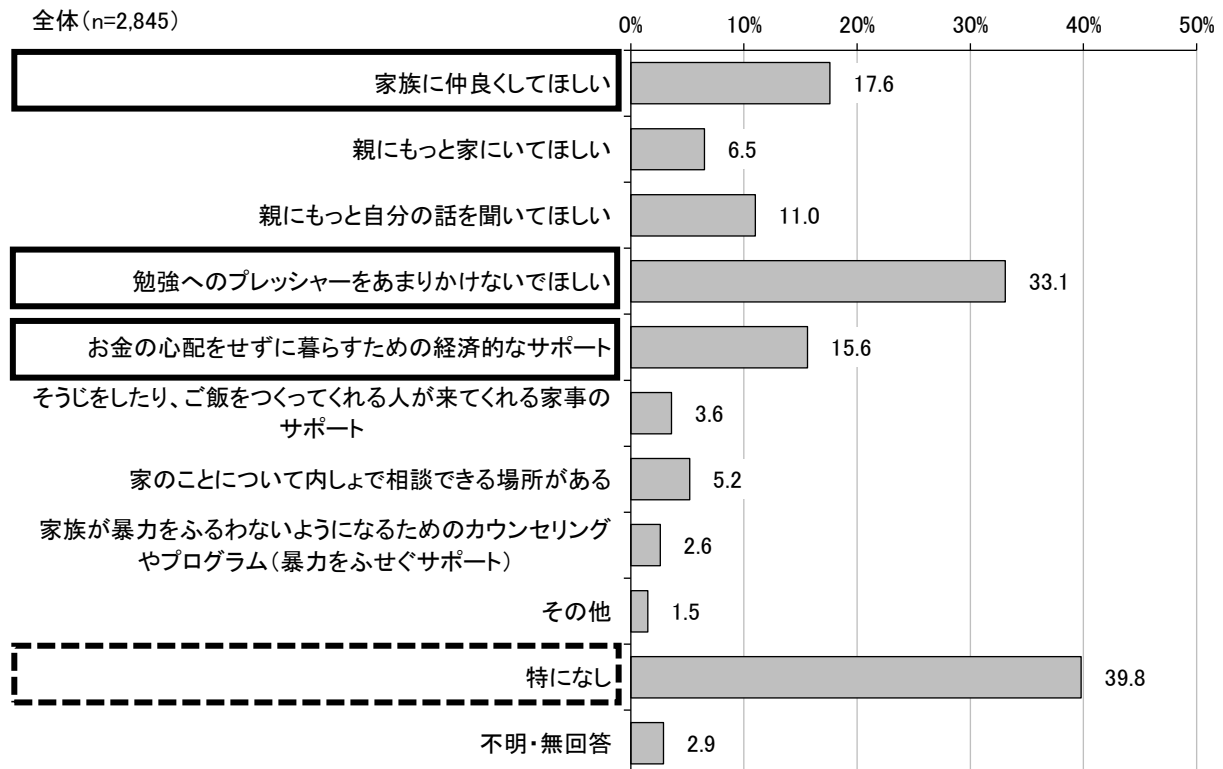
問 14 家庭への満足度×問 15 親などから自分の意見を大事にされているか

自分の家庭に「とても満足している」ではあなたの意見を「大事にしてくれる」（とても大事にしてくれる+大事にしてくれる）が97.3%と割合が最も高く、満足度に低下に伴い「大事にしてくれる」（とても大事にしてくれる+大事にしてくれる）が低くなっています。



問 16 あなたが家庭でこうなったらいいと思うことや、あったらいいと思うサポートはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい」が 33.1%、「家族に仲良くしてほしい」が 17.6%、「お金の心配をせずに暮らすための経済的なサポート」が 15.6%となっています。一方、「特になし」が 39.8%となっています。



問2 学年別×問16 家庭への要望

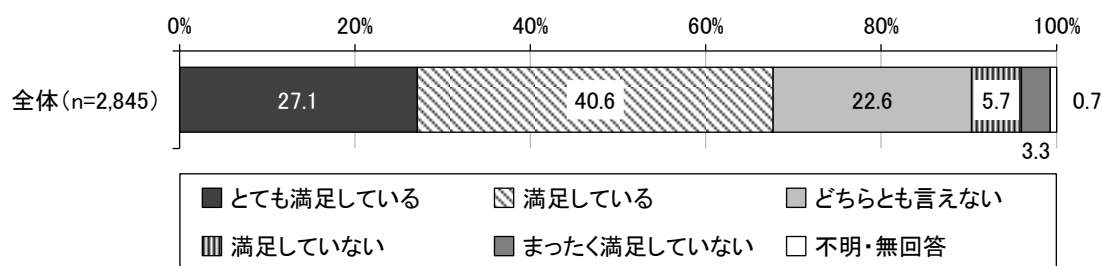
学年別でみると、小学校4年生は「家族に仲良くしてほしい」、小学校5年生～高校3年生は「勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい」が高い割合となっています。

単位：%		家族に仲良くしてほしい	親にもっと家においてほしい	い親にもっと自分の話を聞いてほしい	勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい	経済的なサポート	お金の心配をせずに暮らすためのサポート	くれる人が来てくれる家事のサポート	そうじをしたり、ご飯をつくってくれる人	家の場所がある	家のことについて内しよで相談できる場所がある	家族が暴力をふるわないようになるためのカウンセリングやプログラム（暴力をふせぐサポート）	その他	特になし	不明・無回答
全体 (n=2,845)		17.6	6.5	11.0	33.1	15.6	3.6	5.2	2.6	1.5	39.8	2.9			
学年	小学校4年生 (n=698)	21.8	20.6	15.3	18.9	9.2	6.6	8.6	8.9	1.4	40.4	2.7			
	小学校5年生 (n=628)	22.6	16.1	16.4	23.2	11.3	7.2	9.9	8.1	2.2	42.5	2.1			
	小学校6年生 (n=771)	18.3	12.2	15.7	24.1	10.4	3.4	8.0	5.1	1.8	44.6	3.1			
	中学1年生 (n=743)	18.6	6.1	11.7	38.4	13.3	2.3	5.7	2.0	1.1	38.8	2.3			
	中学2年生 (n=747)	17.5	7.9	13.4	35.3	15.4	4.4	5.6	2.7	1.3	39.5	3.2			
	中学3年生 (n=711)	17.7	7.0	11.4	35.3	17.4	3.8	5.9	3.1	1.3	36.6	3.4			
	高校1年生 (n=297)	15.2	5.4	7.1	25.3	15.8	3.4	2.7	2.4	1.7	47.5	1.7			
	高校2年生 (n=182)	18.7	3.8	6.6	19.8	16.5	2.2	1.6	0.0	1.6	42.3	3.8			
	高校3年生 (n=155)	16.1	5.8	7.7	20.0	17.4	5.2	5.2	5.2	4.5	45.2	2.6			
	その他 (n=7)	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0			

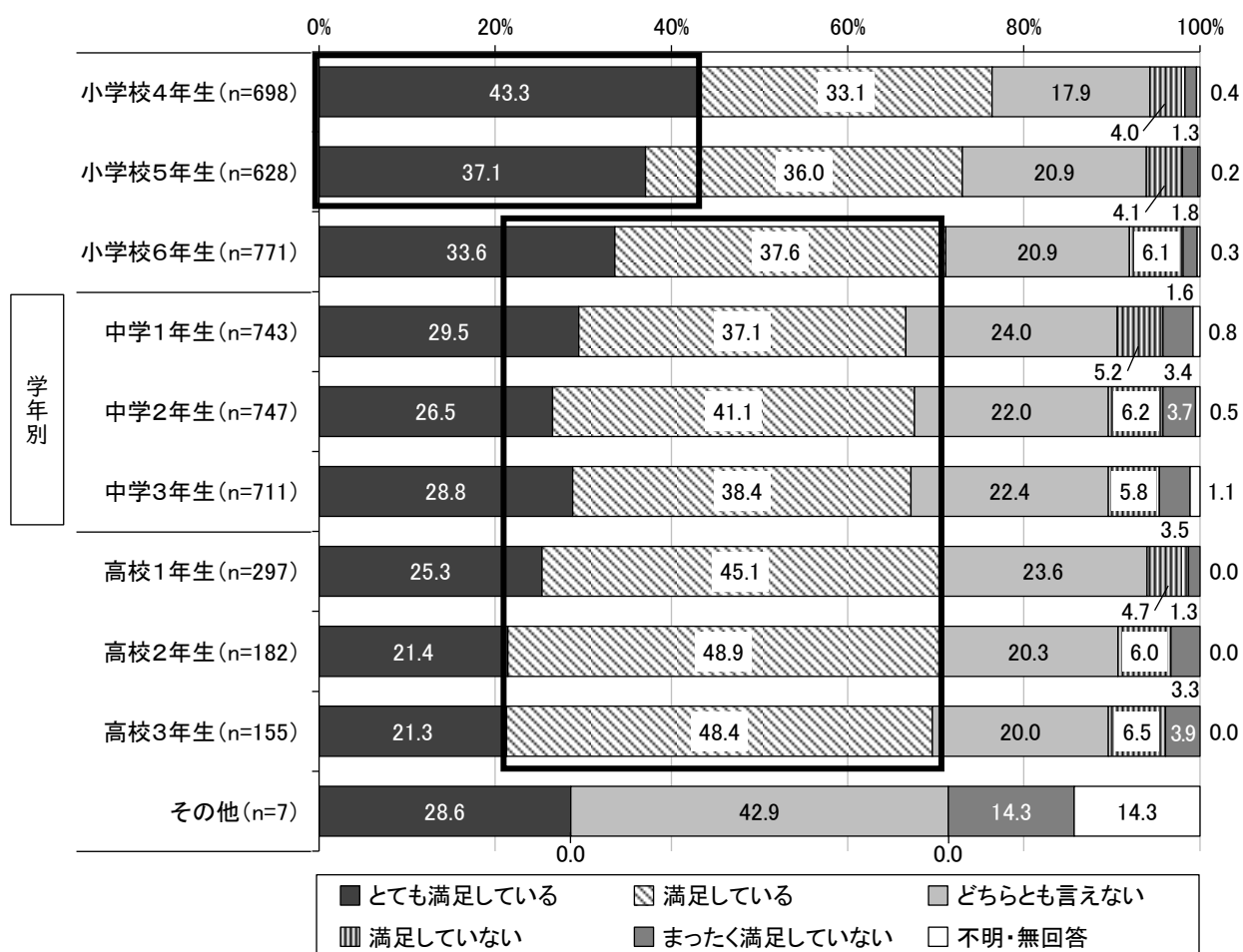
※選択肢「勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい」「家族が暴力をふるわないようになるためのカウンセリングやプログラム（暴力をふせぐサポート）」の、小学校高学年調査での選択肢は「勉強のことを、たくさん言わないでほしい」「家族から、たたかれたり、いやなことをされないようにサポートしてほしい」。

問 17 あなたは、学校生活に満足していますか。（1つを選ぶ）

全体では「満足している」が40.6%と割合が最も高く、次いで「とても満足している」が27.1%、「どちらとも言えない」が22.6%となっています。

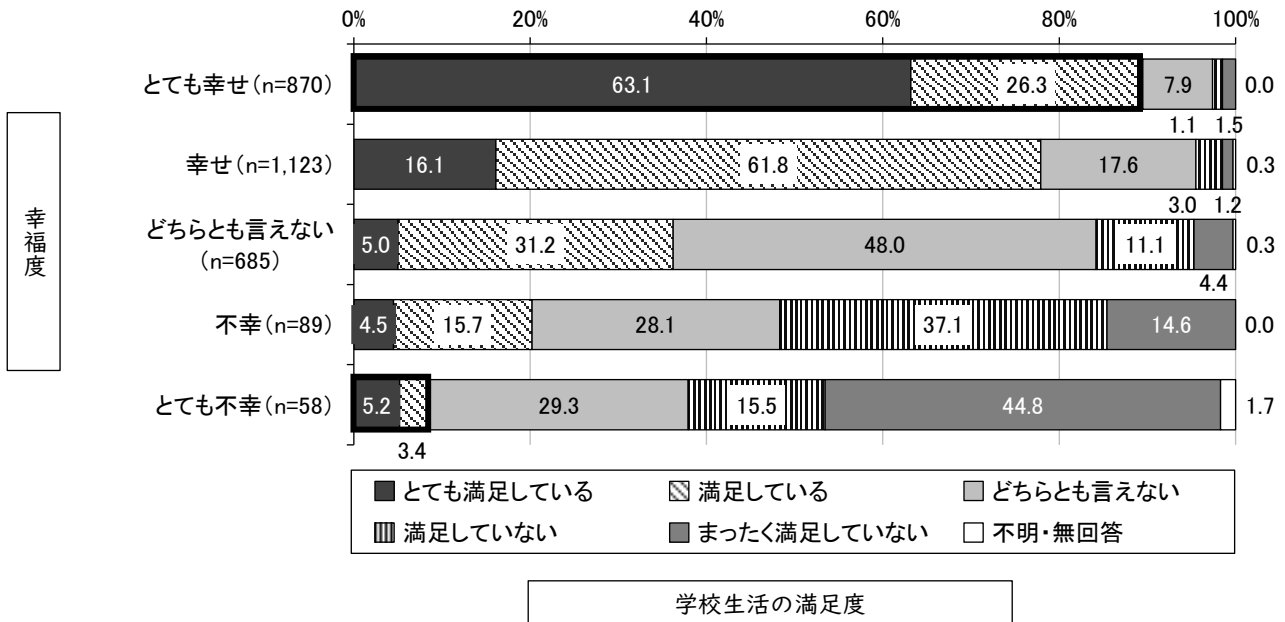
**問 2 学年別×問 17 学校生活の満足度**

学年別にみると小学校4～5年生は学校生活に「とても満足している」が割合として最も高く、小学校6年生～高校3年生は「満足している」が最も高くなっています。



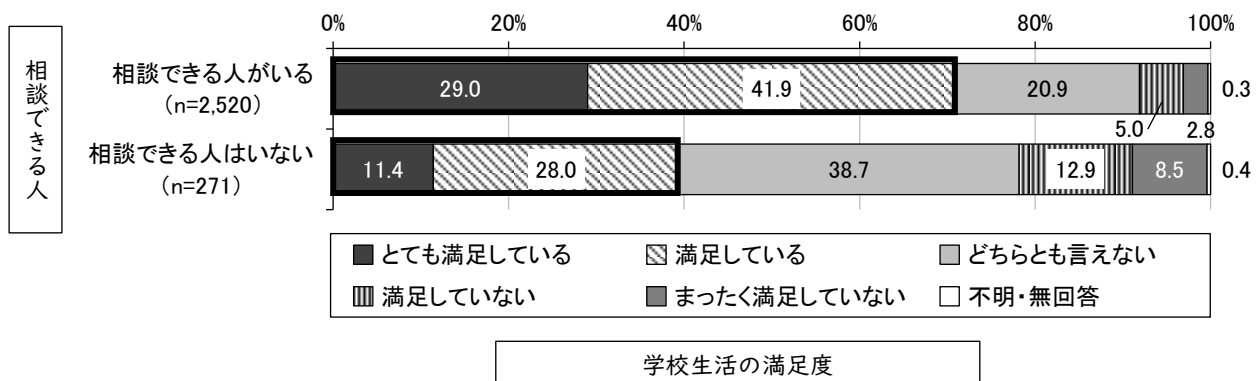
問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）×問17 学校生活の満足度

「とても幸せ」と感じている人は、学校生活に対して「満足している」（とても満足している+満足している）が89.4%と割合が最も高くなっており、幸福度の低下に伴い学校生活の満足度も低くなっています。



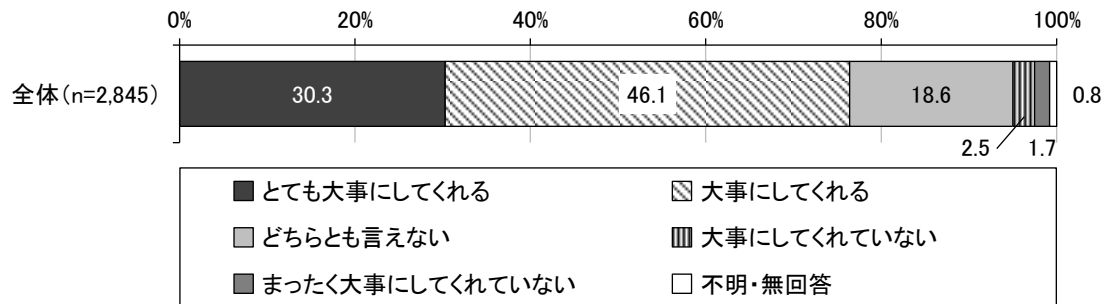
問12 相談できる人×問17 学校生活の満足度

「相談できる人がいる」は学校生活に「満足している」（とても満足している+満足している）が70.9%と「相談できる人はいない」の39.4%よりも31ポイント以上高くなっています。



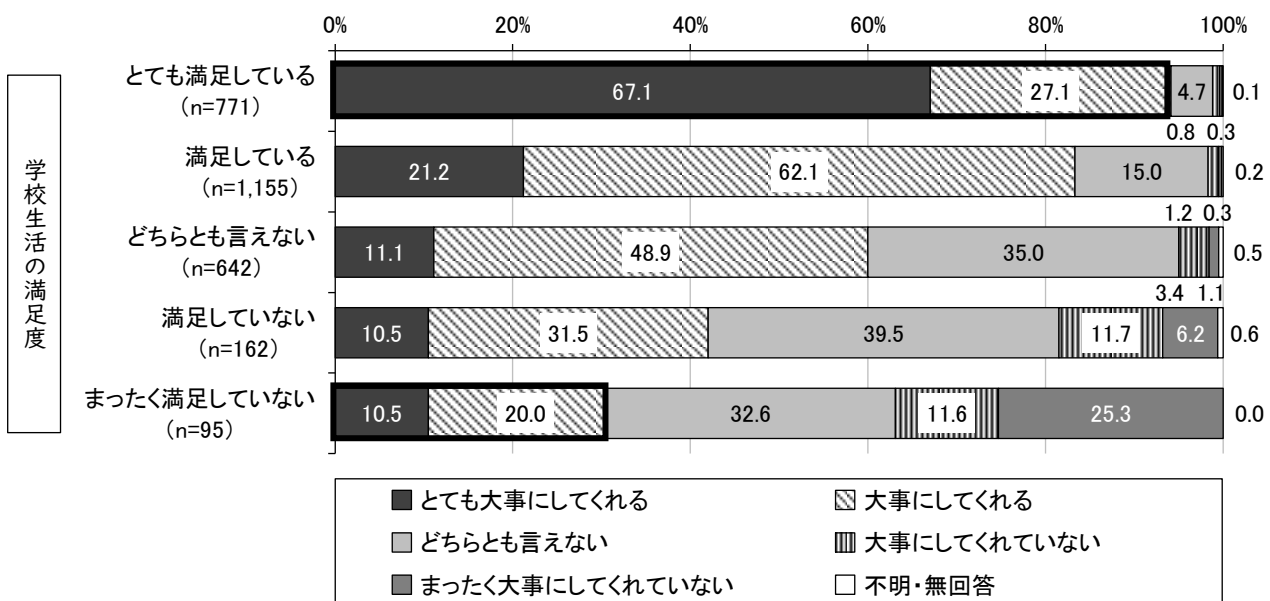
問 18 あなたの学校の先生は、あなたのことを決めるとき、あなたの意見を聞いて大事にしてくれていると思いますか。（1つを選ぶ）

全体では「大事にしてくれる」が46.1%と割合が最も高く、次いで「とても大事にしてくれる」が30.3%、「どちらとも言えない」が18.6%となっています。



問 17 学校生活の満足度×問 18 学校の先生から自分の意見を大事にされているか

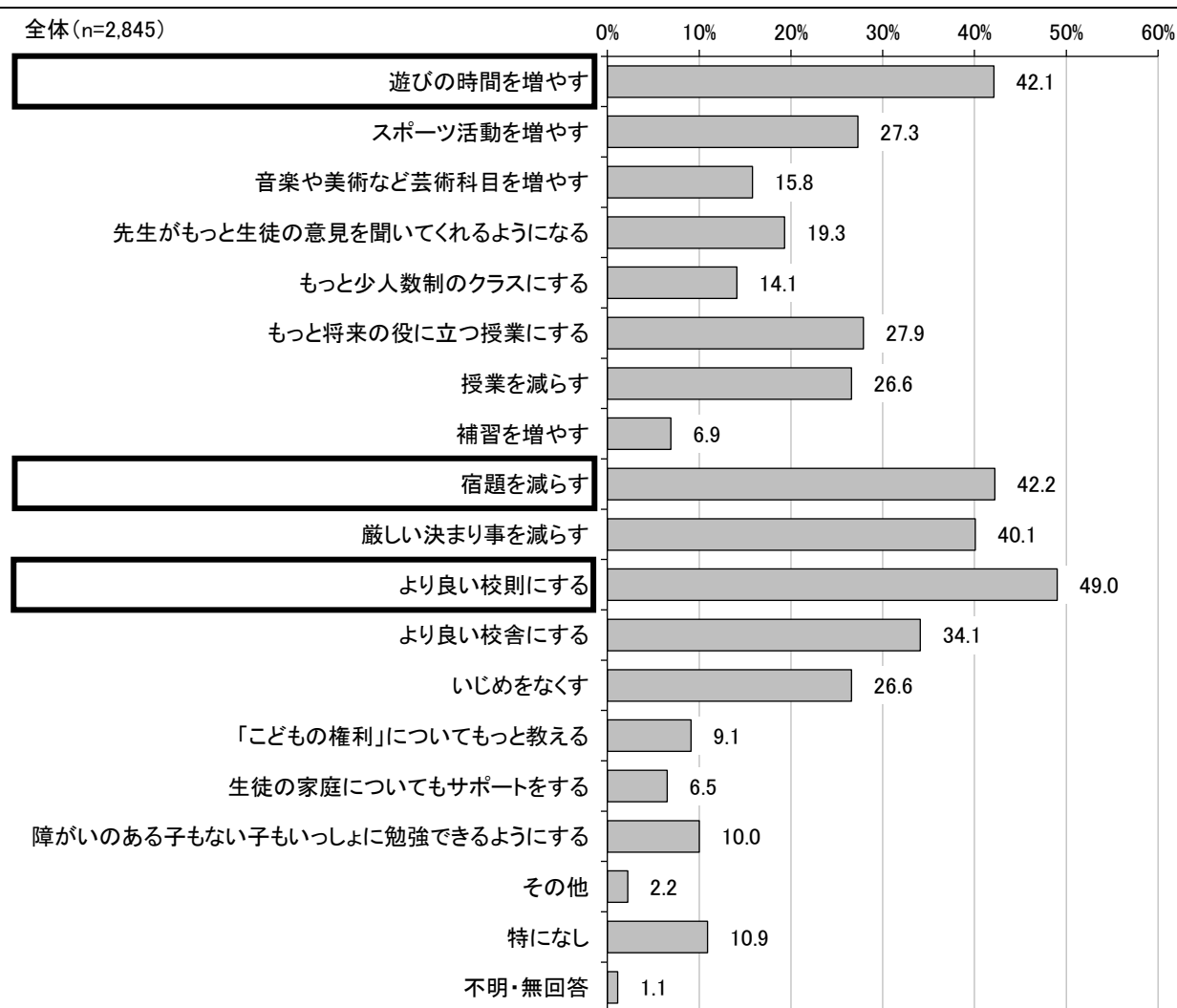
学校に「とても満足している」ではあなたの意見を「大事にしてくれる」（とても大事にしてくれる+大事にしてくれる）が94.2%と割合が最も高く、満足度の低下に伴い「大事にしてくれる」（とても大事にしてくれる+大事にしてくれる）の割合が低くなっています。



学校の先生は自分の意見を大事にしてくれるか

問19 あなたが通っている学校について、もっとこうなったらいいなと思うことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「より良い校則にする」が49.0%と割合が最も高く、次いで「宿題を減らす」が42.2%、「遊びの時間を増やす」が42.1%となっています。



問2 学年別×問19 学校への要望

学年別では小学校4～6年生、中学1～2年生、高校2～3年生で順位は異なりますが、同じ選択肢を選ぶ傾向がみられました。

小学校4～6年生と中学1年生は「遊びの時間を増やす」の割合が最も高く、中学2年生～高校3年生までは「より良い校則にする」が割合として高くなっています。

小学校4～6年生は「いじめをなくす」が他の学年に比べて割合が高くなっています。

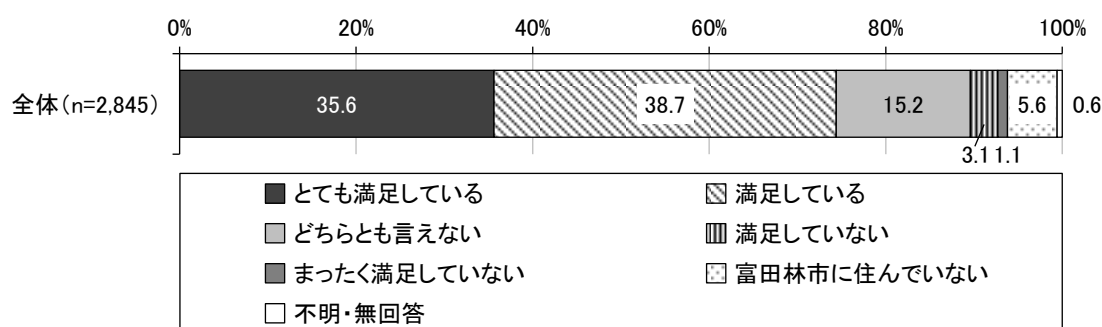
単位：%		遊びの時間を増やす	スポーツ活動を増やす	音楽や美術など芸術科目を増やす	先生がもっと生徒の意見を聞いてくれるようになる	もっと少人数制のクラスにする	もっと将来の役に立つ授業にする	授業を減らす	補習を増やす	宿題を減らす	厳しい決まり事を減らす	より良い校則にする	より良い校舎にする	いじめをなくす	教える「こどもの権利」についてもっと	生徒の家庭についてもサポートをする	障がいのある子もない子もいっしょに勉強できるようにする	その他	特になし	不明・無回答
全体(n=2,845)		42.1	27.3	15.8	19.3	14.1	27.9	26.6	6.9	42.2	40.1	49.0	34.1	26.6	9.1	6.5	10.0	2.2	10.9	1.1
学 年	小学校4年生(n=698)	45.8	28.5	30.2	11.7	8.5	22.9	20.2	25.9	38.8	19.6	19.2	13.9	42.8	15.9	7.9		1.1	13.6	0.9
	小学校5年生(n=628)	51.6	33.6	30.3	15.8	9.6	27.2	31.8	24.2	51.0	24.2	16.9	21.2	40.3	12.7	9.6		2.7	11.0	1.3
	小学校6年生(n=771)	49.9	35.0	22.2	15.3	10.9	22.7	31.3	22.7	48.2	27.1	17.9	25.3	37.4	10.6	6.4		3.2	12.6	0.8
	中学1年生(n=743)	44.4	32.2	16.6	15.1	18.8	26.0	30.6	9.0	43.3	35.8	42.1	31.1	37.4	10.0	7.0	15.3	2.7	10.9	0.7
	中学2年生(n=747)	48.2	29.0	18.2	24.5	14.6	28.2	31.1	6.4	45.8	42.2	54.8	35.3	32.1	10.8	7.5	11.4	3.1	7.5	1.3
	中学3年生(n=711)	42.3	27.1	13.4	21.1	14.1	33.1	25.2	7.2	39.0	41.4	50.6	36.8	26.2	9.4	7.7	9.1	1.0	11.8	1.3
	高校1年生(n=297)	33.0	15.8	12.1	15.2	7.4	17.2	20.2	5.1	42.8	39.7	40.1	25.3	10.1	5.4	3.4	2.4	1.7	15.2	0.7
	高校2年生(n=182)	33.0	23.1	18.7	15.4	9.9	23.6	17.0	4.4	38.5	45.1	59.9	39.0	6.6	5.5	4.4	3.3	1.6	14.3	0.5
	高校3年生(n=155)	29.0	23.2	16.1	18.1	6.5	35.5	15.5	4.5	38.7	41.9	52.3	41.9	5.8	6.5	3.2	3.9	1.9	11.0	1.9
	その他(n=7)	42.9	28.6	0.0	28.6	28.6	57.1	42.9	0.0	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0

※小学校高学年調査では、選択肢「障がいのある子もない子もいっしょに勉強できるようにする」はない。

選択肢「補習を増やす」「より良い校則にする」「より良い校舎にする」の小学校高学年調査での選択肢はそれぞれ「わからないところを教えてもらえる時間をふやす」「学校での決まりごとをよくする」「学校のたてものをよくする」

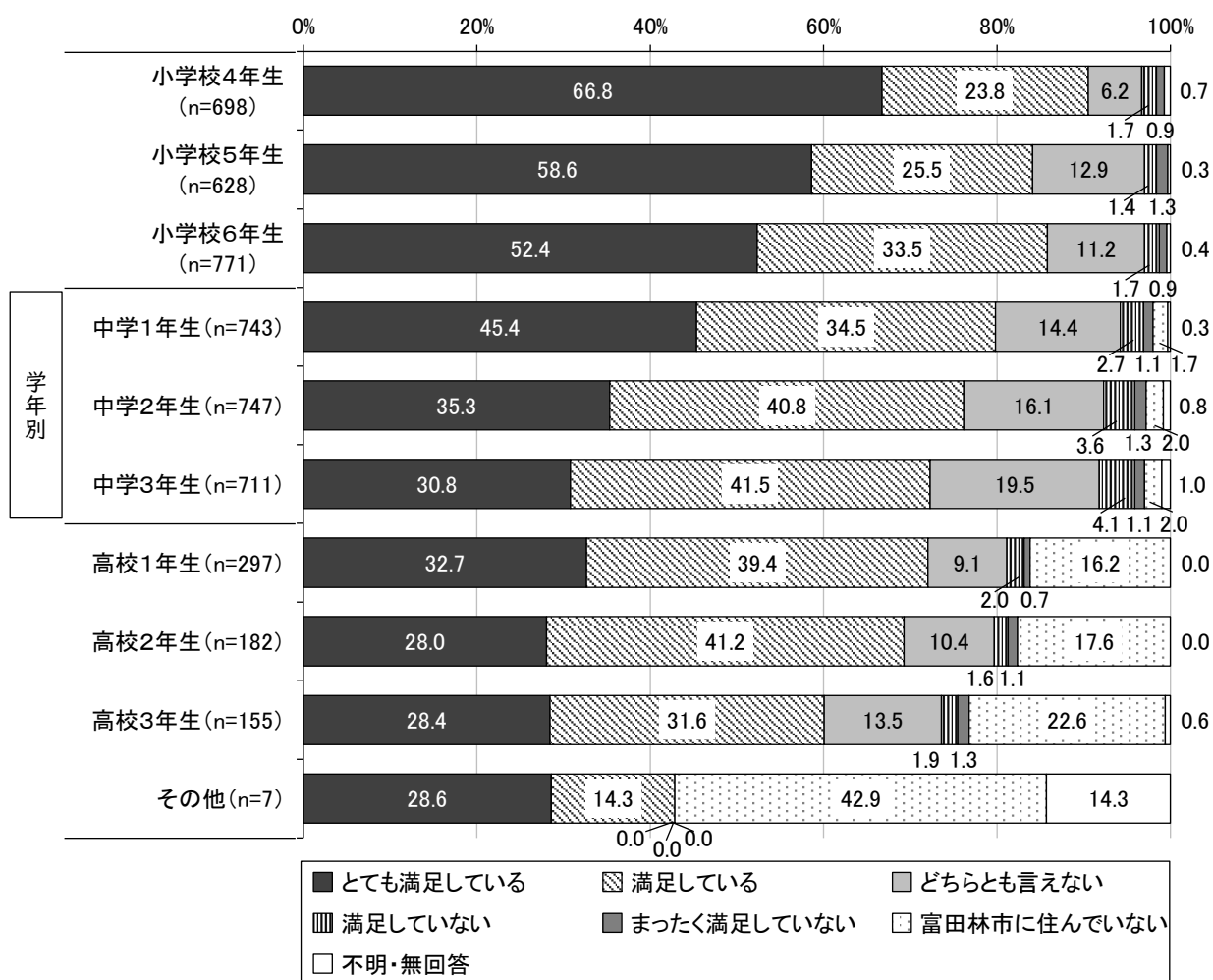
問20 あなたは、住んでいる地域に満足していますか。（1つを選ぶ）

全体では「満足している」が38.7%と割合が最も高く、次いで「とても満足している」が35.6%、「どちらとも言えない」が15.2%となっています。



問2 学年別×問20 地域への満足度

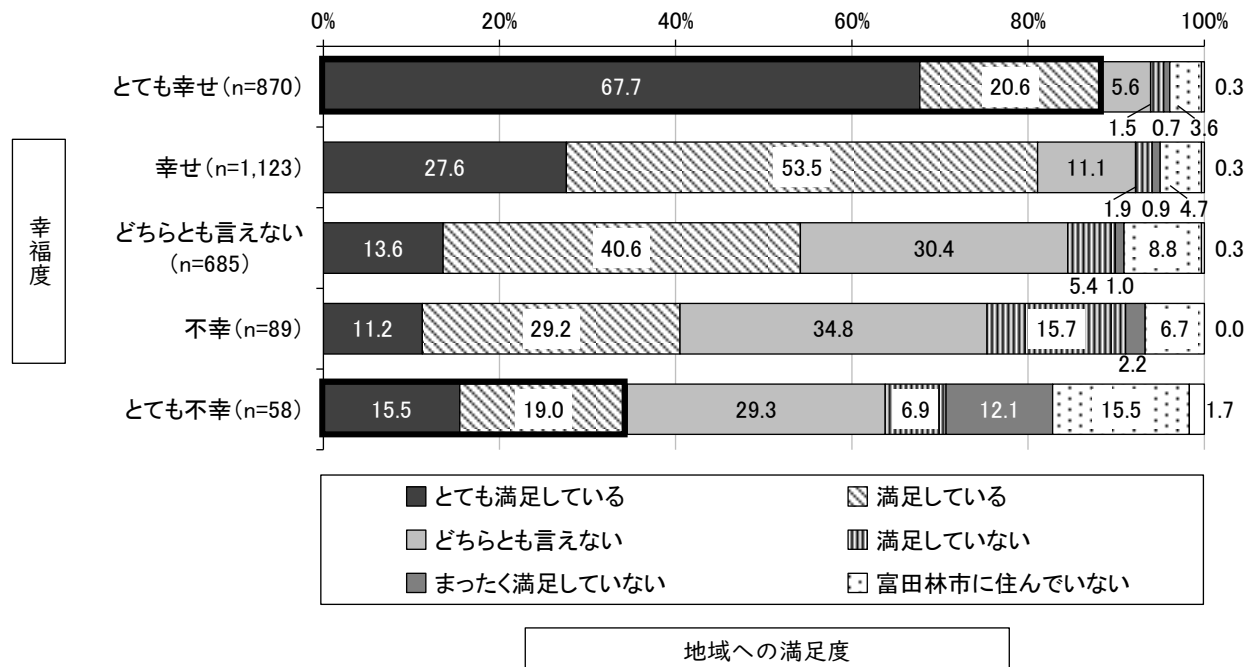
学年別では共通して「満足している」（とても満足している+満足している）の割合が高くなっています。



※「富田林市に住んでいない」は中高生のための選択肢。

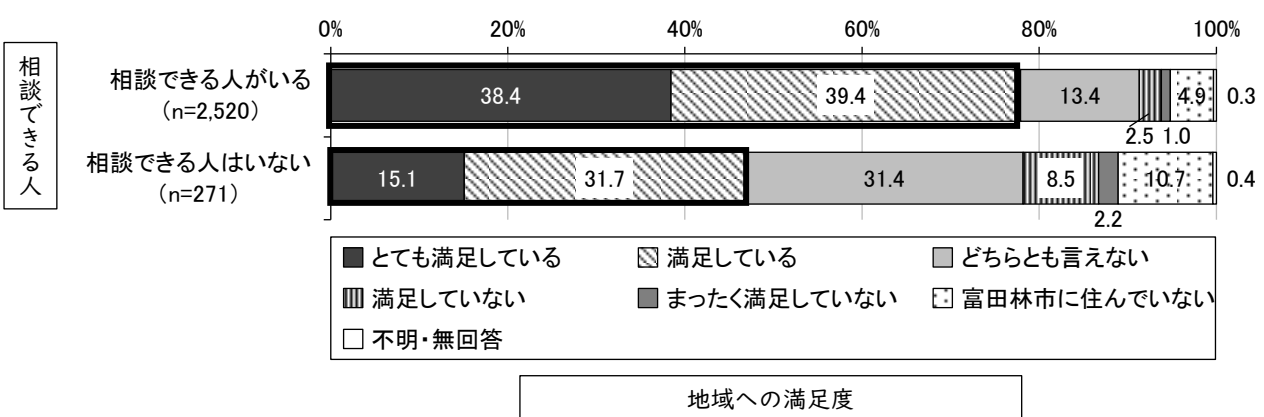
問9 今、どのくらいの幸せを感じているか（幸福度）×問20 地域への満足度

「とても幸せ」と感じている人は、地域に対して「満足している」（とても満足している+満足している）が88.3%と割合が最も高くなっており、幸福度の低下に伴い満足度も低くなっています。



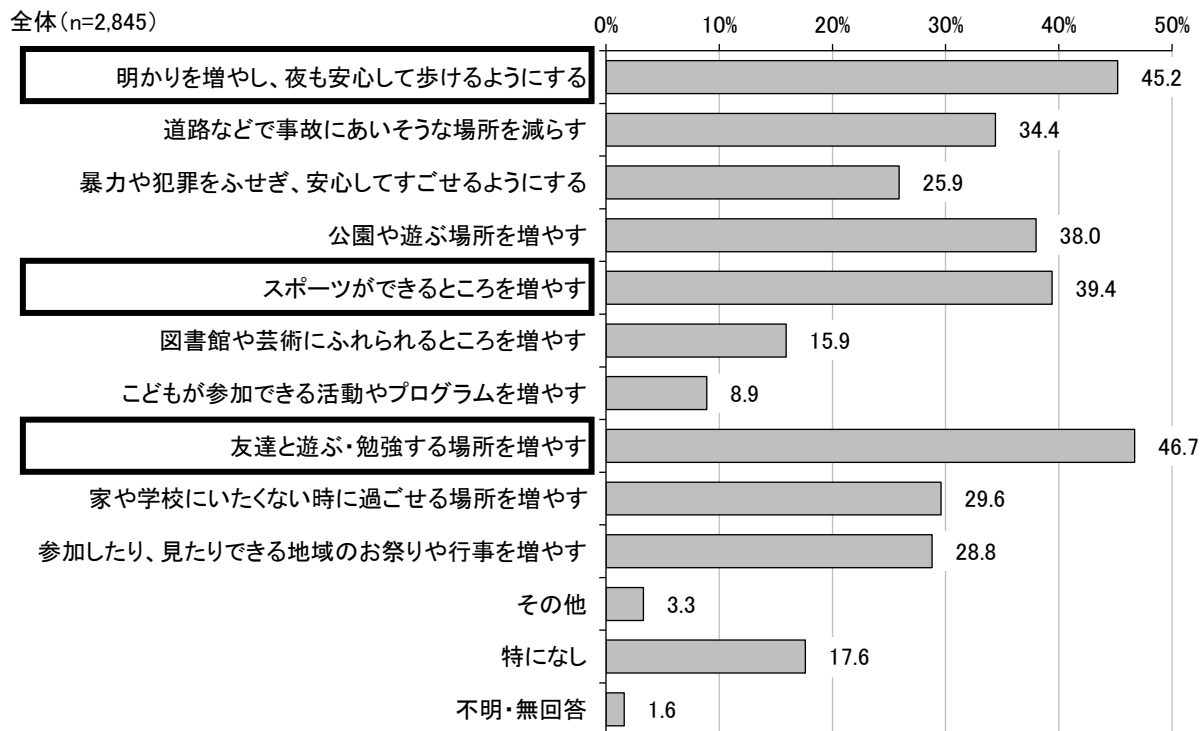
問12 相談できる人×問20 地域への満足度

「相談できる人がいる」は地域に「満足している」(とても満足している+満足している)が77.8%と「相談できる人はいない」の46.8%よりも31ポイント以上高くなっています。



問 21 富田林市について、もっとこうなったらいいなと思うことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「友達と遊ぶ・勉強する場所を増やす」が46.7%と割合が最も高く、次いで「明かりを増やし、夜も安心して歩けるようにする」が45.2%、「スポーツができるところを増やす」が39.4%となっています。



問2 学年別×問2I 富田林市への要望

学年別では小学校4～6年生、中学1年生では「明かりを増やし、夜も安心して歩けるようにする」が最も高く、中学2～3年生では「友達と遊ぶ・勉強する場所を増やす」、高校生では「特になし」の割合が最も高くなっています。

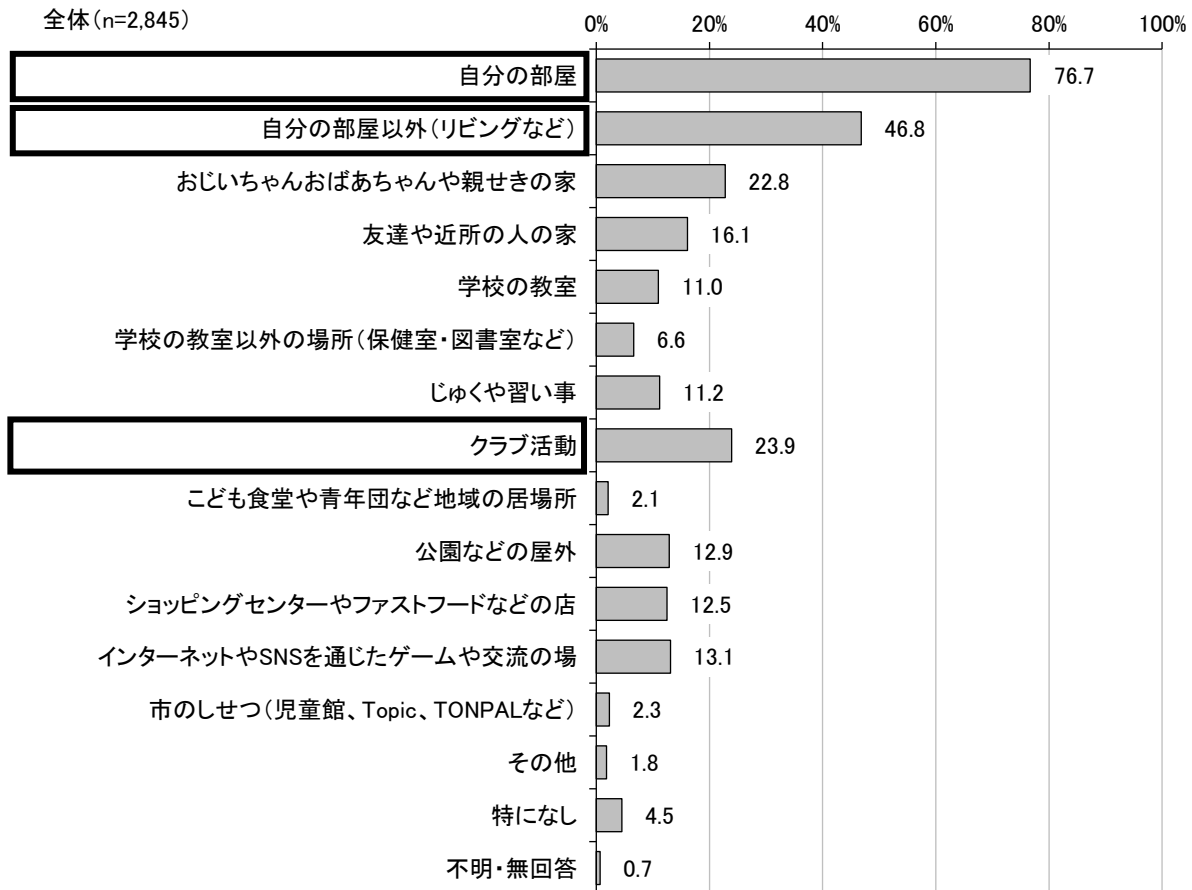
小学校4～6年生では、上位3つの選択肢にばらつきがみられました。一方で、中学生、高校生では上位3つの選択肢は異なるものの、学年に関わらず、同じ選択肢が上位に選ばれています。

単位：%		明かりを増やすようにする	道路などで事故にあいそうな場所を減らす	暴力や犯罪をふせぎ、安心してすごせるようにする	公園や遊ぶ場所を増やす	スポーツができるところを増やす	図書館や芸術にふれられるところを増やす	こどもが参加できる活動やプログラムを増やす	友達と遊ぶ・勉強する場所を増やす	家や学校にいたくない時に過ごせる場所を増やす	域のお祭りや行事を増やす	参加したり、見たりできる地域	その他	特になし	不明・無回答
全体(n=2,845)		45.2	34.4	25.9	38.0	39.4	15.9	8.9	46.7	29.6	28.8	3.3	17.6	1.6	
学 年	小学校4年生(n=698)	55.0	44.4	43.3	42.8	33.7	26.8	22.6	39.0	24.9	40.1	2.0	11.2	0.6	
	小学校5年生(n=628)	57.5	44.4	46.7	49.8	38.4	25.3	18.6	40.6	32.6	44.7	2.4	10.7	1.0	
	小学校6年生(n=771)	55.4	43.3	37.2	53.6	40.6	25.0	15.2	47.0	28.0	43.8	1.8	11.5	0.5	
	中学1年生(n=743)	52.5	42.7	33.9	44.8	46.7	17.1	11.7	49.7	37.4	34.7	3.8	11.6	1.2	
	中学2年生(n=747)	48.3	38.4	27.7	42.6	44.4	16.9	8.7	50.6	30.0	30.8	3.7	14.3	1.5	
	中学3年生(n=711)	51.5	33.6	26.9	40.9	42.2	17.3	9.0	53.9	33.9	31.6	2.7	12.4	1.7	
	高校1年生(n=297)	28.3	21.9	14.1	22.2	22.6	10.4	4.7	32.3	15.2	13.5	2.4	32.7	1.3	
	高校2年生(n=182)	24.7	16.5	11.0	23.6	22.5	12.6	7.7	32.4	14.3	22.0	2.2	39.0	1.6	
	高校3年生(n=155)	24.5	24.5	12.3	17.4	20.6	12.3	5.2	25.8	16.1	13.5	4.5	33.5	3.9	
	その他(n=7)	14.3	28.6	71.4	28.6	42.9	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	

※選択肢「道路などで事故にあいそうな場所を減らす」「図書館や芸術にふれられるところを増やす」「参加したり、見たりできる地域のお祭りや行事を増やす」の、小学校高学年調査での選択肢はそれぞれ「道路などであぶない場所をへらす」「図書館や音楽をきいたり、絵を見るところをふやす」「家のちかくでお祭りや行事をふやす」。

問 22 あなたには、放課後や休日に、自分にとって居場所だと感じられる、落ち着いて居心地よくいられる場所がありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「自分の部屋」が76.7%と割合が最も高く、次いで「自分の部屋以外（リビングなど）」が46.8%、「クラブ活動」が23.9%となっています。



コラム⑥：居心地のいい場所はどこ？

「家庭」での満足度が低いと、こどもにとっての居場所の上位に「インターネットやSNSを通じたゲームや交流の場」があがっている一方で、「自分の部屋以外（リビングなど）」はあがっていません。自分の部屋以外に居場所を求めていることがうかがえます。

また「家庭」での満足度が高いこどもと比較すると、「特になし」と回答することの割合が高くなっています。

単位：%	自分の部屋	自分の部屋以外（リビングなど）	おじいちゃんおばあちゃんや親せきの家	友達や近所の人の家	学校の教室	学校の教室以外の場所（保健室・図書室など）	じゅくや習い事	クラブ活動	こども食堂や青年団など地域の居場所	公園などの屋外	ショッピングセンターやファストフードなどの店	インターネットやSNSを通じたゲームや交流の場	市のしせつ（児童館、Topic、TONPALなど）	その他	特になし	不明・無回答
家庭に 対する 満足度																
とても満足している (n=1,344)	78.7	62.8	29.9	17.7	13.4	7.4	12.6	27.8	2.7	12.1	13.6	10.2	2.6	1.6	3.1	0.1
満足している (n=965)	77.9	41.3	17.2	15.5	9.2	5.9	10.1	21.7	1.5	12.8	11.4	12.6	1.5	1.3	4.5	0.5
どちらとも言えない (n=380)	72.6	19.7	16.1	12.4	8.7	5.3	9.7	20.5	1.8	15.5	11.1	19.5	3.2	2.9	7.6	0.0
満足していない (n=96)	69.8	12.5	11.5	14.6	4.2	5.2	8.3	12.5	2.1	12.5	16.7	28.1	3.1	3.1	7.3	1.0
まったく満足していない (n=40)	80.0	2.5	20.0	22.5	10.0	15.0	12.5	20.0	0.0	20.0	7.5	27.6	2.5	2.5	15.0	0.0

問1 性別、問2 学年別×問22 居場所と感じられる場所

性別でみると男性、女性は「自分の部屋」、「自分の部屋以外（リビングなど）」の割合が高くなっている一方で、その他は、この他に「インターネットや SNS を通じたゲームや交流の場」が高くなりました。また、その他は、男性、女性と比べて「自分の部屋以外（リビングなど）」と回答した割合が低くなっており、家には自分の部屋以外に居場所がないことがうかがえます。

学年別でみると小学校4～6年生では「自分の部屋以外（リビングなど）」、中学生・高校生は「自分の部屋」が最も高い割合となりました。この他、中学1～2年生、高校2年生は「クラブ活動」も高い割合となっています。

単位：%		自分の部屋	自分の部屋以外（リビングなど）	おじいちゃんおばあちゃんや親せきの家	友達や近所の人の家	学校の教室	学校の教室以外の場所（保健室・図書室など）	じゅくや習い事	クラブ活動	場所 こども食堂や青年団など地域の居場所	公園などの屋外	ショッピングセンターやファストフードなどの店	インターネットやSNSを通じたゲームや交流の場	市のしせつ（児童館、Topic、TONPALなど）	その他	特になし	不明・無回答
全体 (n=2,845)		76.7	46.8	22.8	16.1	11.0	6.6	11.2	23.9	2.1	12.9	12.5	13.1	2.3	1.8	4.5	0.7
性別	男性 (n=1,380)	76.2	45.8	23.8	18.4	13.0	6.1	11.4	27.2	2.4	15.6	10.9	13.0	2.8	1.8	5.1	0.5
	女性 (n=1,358)	77.7	49.3	22.2	14.0	9.3	6.9	10.9	21.3	1.7	10.3	14.3	12.4	1.8	1.7	3.5	0.7
	その他 (n=88)	73.9	23.9	17.0	12.5	4.5	9.1	12.5	11.4	3.4	12.5	11.4	28.4	3.4	3.4	8.0	1.1
学年	小学校4年生 (n=698)	44.7	62.6	25.6	14.3	15.5	15.0	12.0	16.0	4.3	16.5	10.7	7.6	4.2	2.7	5.2	1.0
	小学校5年生 (n=628)	53.2	64.0	29.9	19.9	12.6	11.0	10.4	15.9	3.7	18.2	10.8	9.9	3.0	1.1	5.3	0.6
	小学校6年生 (n=771)	59.0	62.8	27.4	21.7	11.7	10.5	8.4	15.6	3.1	21.3	14.0	13.7	3.1	1.7	5.3	0.4
	中学1年生 (n=743)	72.1	49.4	25.3	19.8	13.3	9.4	11.8	30.4	3.6	18.8	16.3	13.9	2.7	3.1	4.7	0.4
	中学2年生 (n=747)	74.4	50.3	26.0	17.8	9.8	6.2	12.2	26.1	2.7	13.5	13.5	15.1	1.7	1.1	4.4	0.9
	中学3年生 (n=711)	81.7	42.8	20.7	18.0	10.7	5.8	12.8	19.7	1.1	11.0	11.5	13.9	2.3	1.1	3.2	1.4
	高校1年生 (n=297)	77.4	43.8	18.9	9.4	6.7	4.0	4.7	16.2	0.3	5.1	6.7	8.4	1.3	1.7	8.1	0.0
	高校2年生 (n=182)	84.1	44.5	20.3	6.6	13.7	6.6	5.5	27.5	1.1	10.4	7.7	8.2	2.2	2.2	3.3	0.0
	高校3年生 (n=155)	78.7	45.8	16.8	6.5	11.0	3.2	13.5	12.9	0.6	8.4	11.0	11.0	5.2	1.3	3.9	0.0
	その他 (n=7)	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0

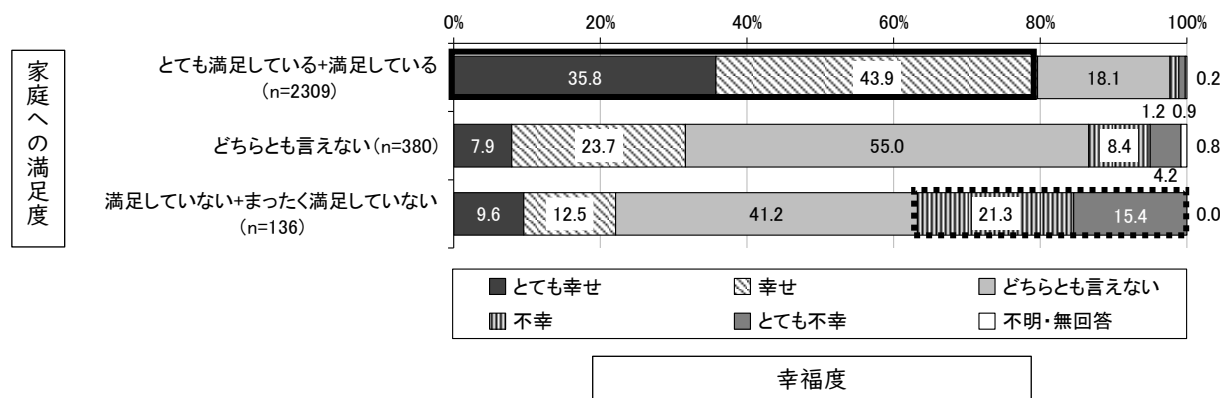
※選択肢「クラブ活動」の、小学校高学年調査での選択肢は「学どろクラブやクラブ活動」。

コラム⑦：満足度と「家庭」・「学校」・「地域」に対する幸福度

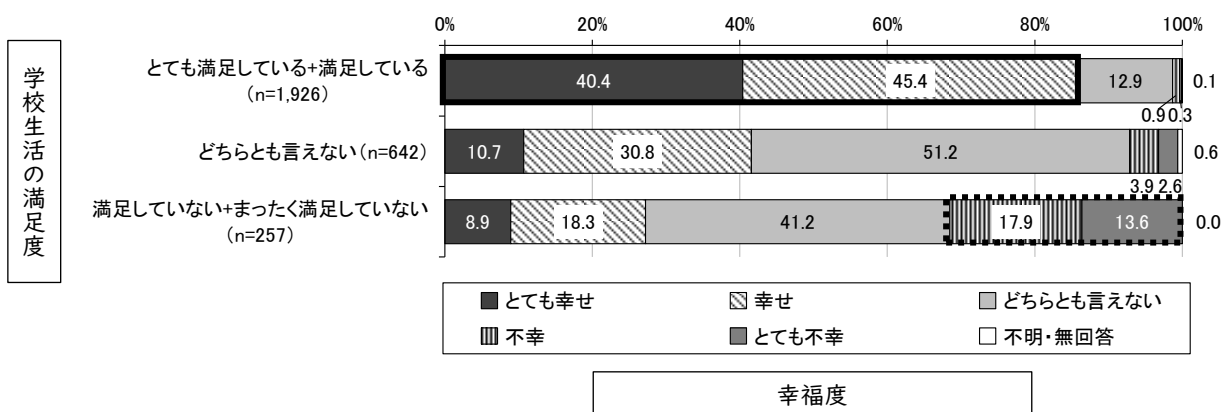
本調査の結果、本市においては「家庭」・「学校」・「地域」に満足している（とても満足している+満足している）こどもの場合、それぞれ、幸せ（とても幸せ+幸せ）と回答した割合は約8割となりました。一方で、これらに対する満足度が低いこどもの幸福度は低くなる傾向がみられます。

特に、「家庭」で「満足していない」（満足していない+まったく満足していない）と感じるこどもは「学校」や「地域」と比較して幸福度が低くなっています。

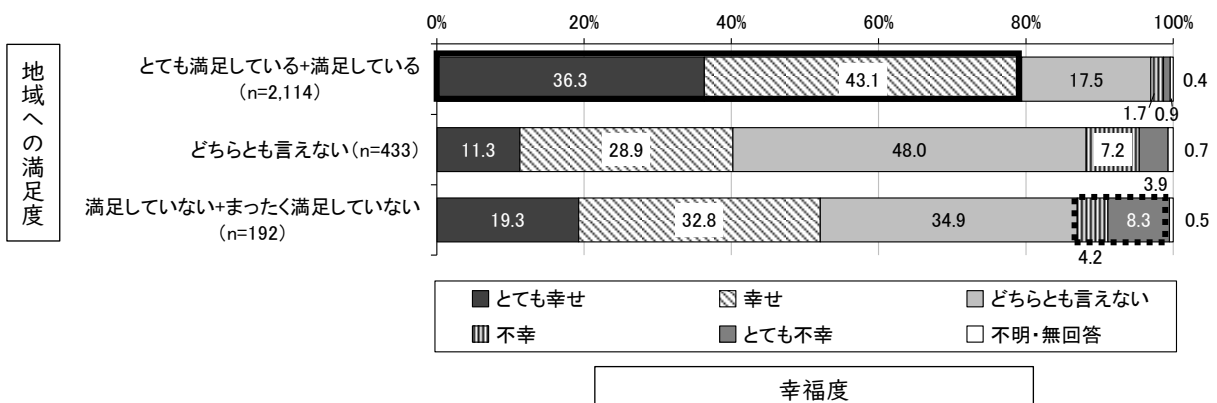
【問14 家庭への満足度×問9 幸福度】



【問17 学校生活の満足度×問9 幸福度】



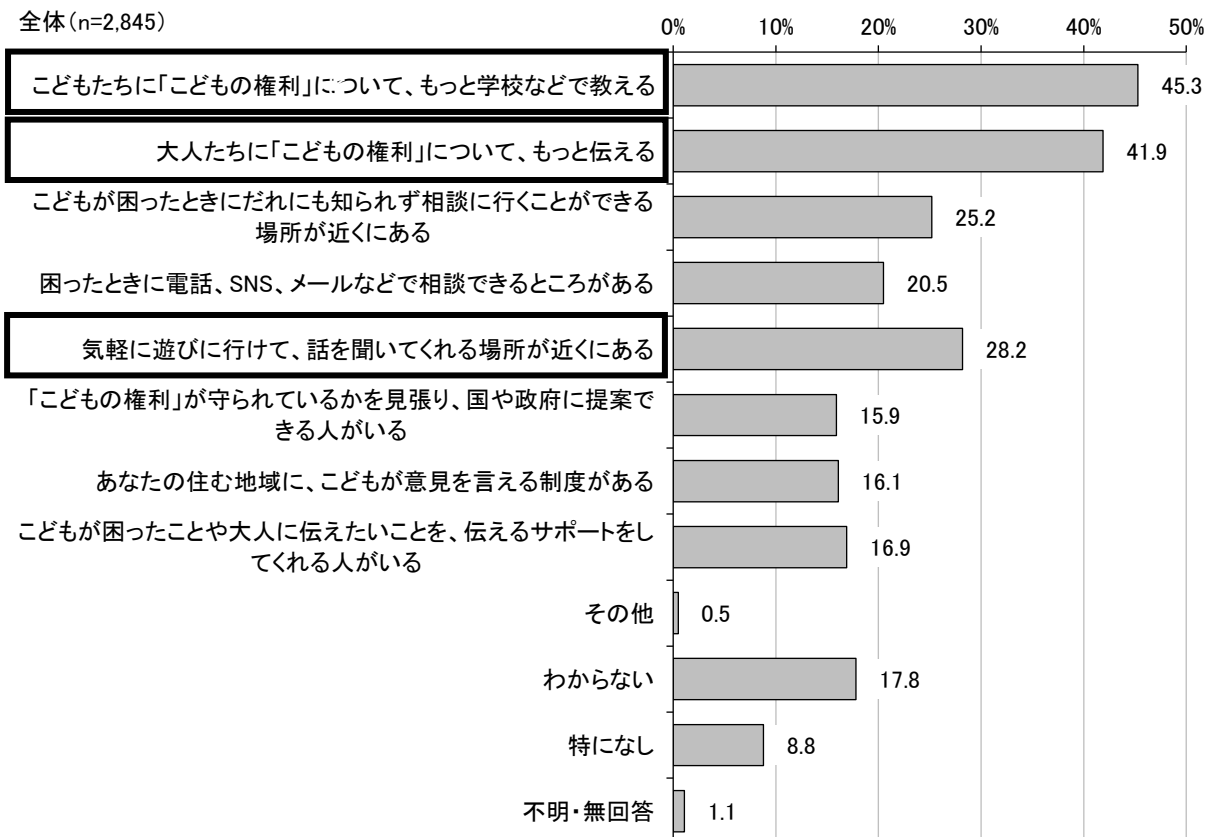
【問20 地域への満足度×問9 幸福度】



Ⅱ こどもの権利をまもる仕組み

問 23 あなたは、「こどもの権利」をまもるために、どんな仕組みがあると良いと思いますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

全体では「こどもたちに「こどもの権利」について、もっと学校などで教える」が45.3%と割合が最も高く、次いで「大人たちに「こどもの権利」について、もっと伝える」が41.9%、「気軽に遊びに行けて、話を聞いてくれる場所が近くにある」が28.2%となっています。



問2 学年別×問23 こどもの権利を守る仕組み

学年別では、ほとんどの学年で同じ選択肢が高くなる傾向がみられた一方で、高校1年生では「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%		こどもたちが「こどもの権利」について、 もっと学校などで教える	大人たちに「こどもの権利」について、 もっと伝える	こどもが困ったときにだれにも知られず相 談に行くことができる場所が近くにある	困ったときに電話、SNS、メールなどで 相談できるところがある	気軽に遊びに行けて、話を聞いてくれる場 所が近くにある	「こどもの権利」が守られているかを見張 り、国や政府に提案できる人がいる	あなたの住む地域に、こどもが意見を言え る制度がある	こどもが困ったことや大人に伝えたいこと を、伝えるサポートをしてくれる人がいる	その他	わからない	特になし	不明・無回答
全体(n=2,845)		45.3	41.9	25.2	20.5	28.2	15.9	16.1	16.9	0.5	17.8	8.8	1.1
学 年	小学校4年生(n=698)	47.1	38.7	25.8	16.2	26.6	20.5	18.6	23.8	0.1	13.9	11.3	1.4
	小学校5年生(n=628)	43.8	43.0	28.7	18.8	28.8	19.3	16.1	22.8	0.2	15.4	9.7	1.3
	小学校6年生(n=771)	44.7	41.6	24.9	17.8	28.0	17.0	16.0	17.8	0.4	18.9	8.9	1.2
	中学1年生(n=743)	47.4	45.9	26.4	19.4	31.4	18.3	15.5	18.8	0.1	18.2	8.2	0.8
	中学2年生(n=747)	45.0	43.0	26.6	19.7	29.3	15.8	19.1	17.0	0.5	18.3	9.9	1.5
	中学3年生(n=711)	44.4	41.9	25.0	23.1	26.9	15.5	15.2	16.2	0.3	16.5	8.0	1.7
	高校1年生(n=297)	40.1	31.0	20.9	17.2	17.8	11.4	11.8	11.4	0.3	23.2	9.8	0.3
	高校2年生(n=182)	48.9	40.1	24.2	24.2	33.0	15.9	15.9	18.1	0.5	13.7	9.3	0.5
	高校3年生(n=155)	45.8	41.9	21.9	20.0	28.4	15.5	16.1	20.0	2.6	14.2	7.7	0.6
その他(n=7)	57.1	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	

小学校低学年（数値は集計中）

問10 「こどもの権利」をみんなに知ってもらうために、どのようなことをすれば良いと思いますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

単位：%		ポスターを作る	絵本を作る	漫画を作る	動画を作る	学校で教える	この他のこと	わからない	不明・無回答
全体(n=4)		40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	小学校1年生(n=200)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校2年生(n=300)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学校3年生(n=400)	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

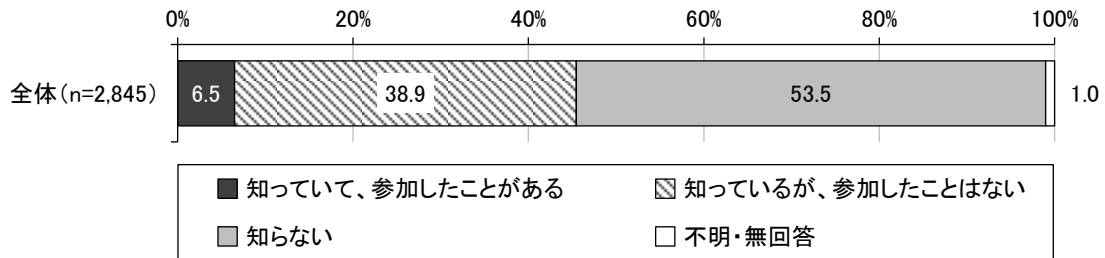
12 富田林市の取組へのこども・若者の参加

問 24 富田林市にはこどもや若者が参加し、まちづくりや学校運営について意見を言えたり、自分たちがイベントの企画・運営をしたりする取組があります。

例：中学生の生徒会サミット・高校生や大学生の若者会議

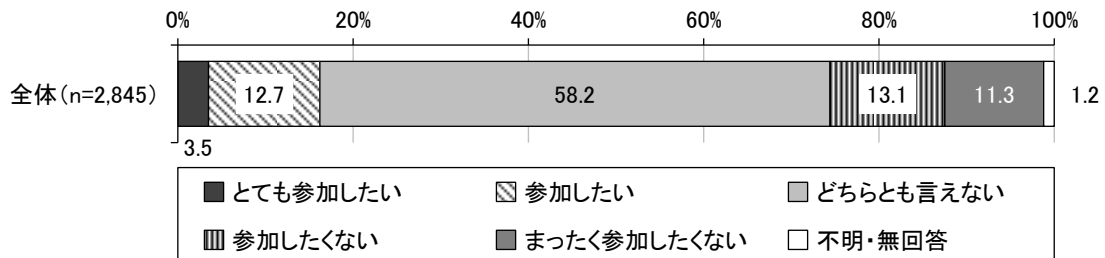
① これらの取組があることを知っていますか。（1つを選ぶ）

全体では「知らない」が 53.5%と割合が最も高く、次いで「知っているが、参加したことはない」が 38.9%、「知っていて、参加したことがある」が 6.5%となっています。



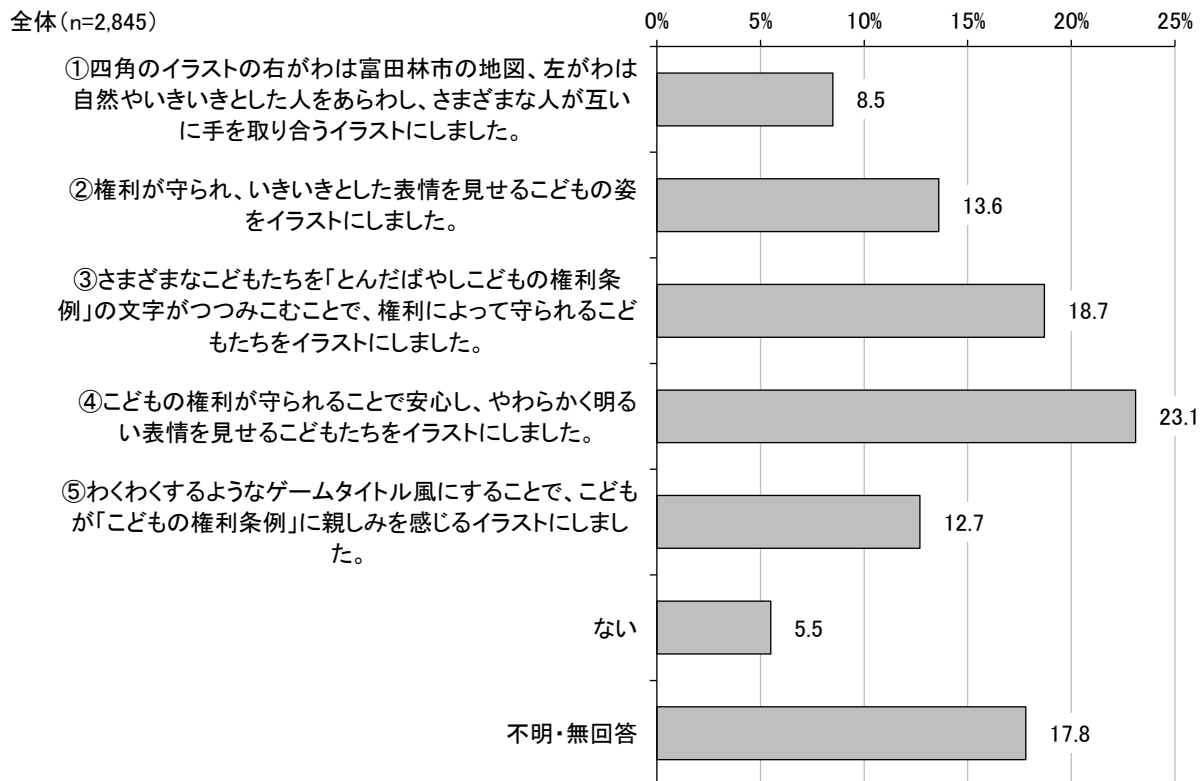
② 今後このような取組に参加したいと思いますか。（1つを選ぶ）

全体では「どちらとも言えない」が 58.2%と割合が最も高く、次いで「参加したくない」が 13.1%、「参加したい」が 12.7%となっています。



問 25 富田林市では「こどもの権利条例」のイラストを作成します。「こどもの権利条例」のイメージに一番合うイラストはどれですか。（1つを選ぶ）

全体では「④」が23.1%と割合が最も高く、次いで「③」が18.7%、「②」が13.6%となっています。



①



②



③



④



⑤



Ⅲ その他回答まとめ

ここでは自由記述をまとめました。詳細については資料編をご覧ください。

問4 「こどもの権利」には、次のようなものがあります。あなたが知っている「こどもの権利」を選んでください。（知っているすべてを選ぶ）

内容	件数
第38条 戦争からの保護	6
第36条 あらゆる搾取からの保護	4
第37条 拷問・死刑の禁止	3
第1条 子どもの定義	2
第26条 社会保障を受ける権利	2
第39条 被害にあった子どもの回復と社会復帰	2
第11条 よその国に連れさられない権利	1
第16条 プライバシー・名誉の保護	1
第18条 子どもの養育はまず親に責任	1
第20条 家庭を奪われた子どもの保護	1
第21条 養子縁組	1
第28条 教育を受ける権利	1
第30条 少数民族・先住民の子ども	1
第40条 子どもに関する司法	1
その他	2

問5 あなたやあなたの周りで、守られていないと思う「こどもの権利」を選んでください。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
第16条 プライバシー・名誉の保護	2
第2条 差別の禁止	1
第13条 表現の自由	1
第28条 教育を受ける権利	1
その他	3
わからない	1

問 10 あなたは、以下のような理由で、差別を受けた（いやなことを言われたり、不当なあつかいをされたりした）と感じたことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
自分の行動のこと	7
性格のこと	7
不当な扱い	6
悪口	5
からだのこと	4
自分の考え方	3
スマートフォン	3
名前	3
その他	6
ない	14

問 11 あなたは今、困っていること、つらいと感じていることはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
勉強・進路のこと	29
部活のこと	8
学校のこと	5
将来のこと	5
病気・けが	4
生きること	3
お金のこと	3
過去のこと	2
きょうだいのこと	2
友達のこと	2
その他	13
ない	7

問 12 あなたが、困っていること、つらいと感じていることがあるときに、相談できる人はだれですか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
いとお	3
先生	2
富田林警察の少年のための科の警察の人たちや、児童相談所の人たち	1
フォロワーが誰一人いない公開のアカウント。	1

内容	件数
彼女	1
先輩 相談する後輩は相談しない	1
全員	1
相談したくない	1
チャイルドライン 子供の SOS	1
時間があれば友達に後はあんまり	1
11にチェックマークを入れています但し信頼しているだけで言ったことはありません	1
英検のひと	1
ねこ	1
AI	1
ない	3
その他	1

問 13 あなたは、インターネットや SNS を使っていて、困ったことがありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
トラブル	17
その他	8
ない	5

問 16 あなたが家庭でこうなったらいいと思うことや、あったらいいと思うサポートはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
親について	8
自分の思いや考えを受け入れてほしい	6
経済的なこと	1
アルコール	1
スポーツ	1
部活動の増加	1
勉強について	1
その他	12
ない	1

問 19 あなたが通っている学校について、もっとこうなったらいいなと思うことはありますか。
（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
環境	13
授業	10
校則	7
先生について	5
部活動	4
行事	2
その他	17

問 21 富田林市について、もっとこうなったらいいなと思うことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
運動インフラの整備	20
娯楽インフラの整備	14
インフラの整備	7
交通インフラ整備	6
学校について	5
地域行事	4
騒音対策	4
施設整備	4
自然環境の整備	3
治安について	3
防犯インフラの整備	2
環境整備	1
その他	15

問 22 あなたには、放課後や休日に、自分にとって居場所だと感じられる、落ち着いて居心地よくいられる場所がありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
トイレ	10
自宅	4
図書館	2
友達	2
その他	22

問 23 あなたは「こどもの権利」をまもるために、どんな仕組みがあると良いと思いますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

内容	件数
公園で子供が自由に球技などで遊べるようにする	1
権利ではなくて決まり	1
親に子供の権利条約を学ばせることを義務にする	1
安いお金で子供でもいける話を聞いてくれる人を増やす。一人一人支援をしてほしい。	1
破った人罰金 10000000000000000	1
時代にあった教育をする。公務員（教職員）のプライドを捨てさせる守るのは自分の立場ではなく子供の権利を守らせる	1
子供の親に学校などで「こどもの権利」について教える	1
相談できる所を作るんじゃなくて、話しかけて欲しい	1

Ⅳ 調査票（中高生）

＼富田林市こどもの権利条例の制定のために／

こども WEB アンケート調査 ご協力のおねがい

富田林市では「こどもの権利」を大切にすまちにしていけるために、「こどもの権利条例」の制定をめざしています。

みなさんの声を聞いて、「こどもの権利」が大切にされ、みなさんがそのことを感じ、声をあげることができ、その声が大切にされるまちにしていきたいと考えています。

そのために、みなさんの状況や考えていることを教えてください。

ご協力よろしくお願いします。

令和6年9月

富田林市

 名前は書かないよ

 答えたくない質問には答えなくていいよ

 保護者や先生に答えが見られることはないよ

 だれが答えたかは分からないようにまとめるよ



ご回答にあたって

- パソコンまたはスマートフォン、タブレットなどから下記アンケート回答先にアクセスし、アンケートにお答えください。
- 回答は、設問ごとの説明にしたがって、あてはまる番号を選んでください。
- 「その他」を選んだときは、()に具体的な内容を記入してください。
- ご不明な点がございましたら、下記へお問合せください。

アンケート回答先

右にある二次元コードまたは下記のURLからアクセスしてください。

<https://questant.jp/q/tondabayashi-kodomonokenri2>

※紙での回答を希望する場合は、下記のお問合せまでご連絡ください。



回答期限は令和 6 年 10 月 31 日(木)まで

お問合せ

富田林市こども未来部こども政策課 富田林市常盤町1番1号 市役所4階
でんわ：0721-25-1000（内線291）
ファックス：0721-24-8976
メール：k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

問1 あなたの性別を教えてください。(1つを選ぶ)

- | | | |
|-------|-------|-----------------------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他(どちらともいえない、わからない、答えたくない など) |
|-------|-------|-----------------------------------|

問2 あなたの学年または年れいを教えてください。(1つを選ぶ)

- | | |
|----------|---------------------|
| 1. 中学1年生 | 4. 高校1年生(15～16 さい) |
| 2. 中学2年生 | 5. 高校2年生(16～17 さい) |
| 3. 中学3年生 | 6. 高校3年生(17～18 さい) |
| | 7. その他(18 さい以上をふくむ) |

問3 「こどもの権利」とは、こどものみなさんが安心して生活できること、自由に意見を言うことができることなど自分らしく元気に生きる上で大切なものです。

あなたは、こうした「こどもの権利」について知っていますか。(1つを選ぶ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. くわしく知っている | 3. 聞いたことがある |
| 2. 知っている | 4. 聞いたことはない |

問4 「こどもの権利」には、次のようなものがあります。

あなたが知っている「こどもの権利」を選んでください。(知っているすべてを選ぶ)

1. どんな理由でも差別されないこと(差別の禁止)
2. 悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと(いじめをふくむ暴力や差別の禁止)
3. 命が守られ、成長できること(生存・発達の権利)
4. こどもにとって、一番よいことは何かを考えてくれること(こどもの最善の利益の追きゅう)
5. 自分の意見を自由に言えること、大人に意見をきいてもらえること(こどもの意見の尊重)
6. たたかれたり、ひどい目にあわされたりしないこと(暴力からの保護)
7. 心や体が十分に成長する教育を受けること(教育を受ける権利)
8. 休んだり、遊んだりすること(休む・遊ぶ権利)
9. 自由に考え、思い、選ぶこと(思想・良心の自由)
10. 多くの家事をさせられたり、体についていやなことをされたりするなど、人から利用されないこと(あらゆるさくしゅからの保護)
11. こどもの権利について学べること(こどもの権利を知る権利)
12. 特に知っている権利はない
13. その他()

- 問6 あなたは、自分のことが好きだと思いますか。(1つを選ぶ)

- 問7 あなたは、自分らしく生きていると思いますか。(1つを選ぶ)

- 問8 あなたは、自分の考えを相手にはっきり伝えることができますか。(1つを選ぶ)

- 問9 あなたは今、どのくらいの幸せを感じていますか。(1つを選ぶ)

- 60

問10 あなたは、以下のような理由で、差別を受けた（いやなことを言われたり、不当なあつかいをされたりした）と感じたことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

1. 差別を受けたことはない
2. 自分の見た目について
3. 自分の話し方について
4. 自分の性別について
5. 自分の心や体について
6. 自分の成績について
7. 障がいや病気について
8. 家族のことについて（海外に関わりのあること、お金のことなど）
9. 住んでいる場所・地域について
10. その他（ ）
11. 答えたくない

問11 あなたは今、困っていること、つらいと感じていることはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 学校のこと | 7. お金のこと |
| 2. 学校の先生のこと | 8. インターネット、メール、SNSのこと |
| 3. 友達のこと | 9. 家族のこと |
| 4. いじめのこと | 10. 自分のこと（見た目、成績、性格など） |
| 5. 暴力（ぎゃくたいなど）のこと | 11. その他（ ） |
| 6. 家族の世話や家事などをしなければなら
ないこと | 12. 困っていること、つらいと感じているこ
とはない |

問12 あなたが、困っていること、つらいと感じていることがあるときに、相談できる人はだれですか。（あてはまるすべてを選ぶ）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. お母さん | 9. 習い事の先生など親しい人 |
| 2. お父さん | 10. 近所の人 |
| 3. きょうだい | 11. インターネットやSNS上の知り合い |
| 4. おじいちゃん・おばあちゃん・親せき | 12. こどもの相談にのってくれる団体の人 |
| 5. 友達 | 13. 市役所の人 |
| 6. 先輩いや後はい | 14. 相談できる人はいない |
| 7. 学校の先生 | 15. その他（ ） |
| 8. スクールカウンセラー | |

問13 あなたは、インターネットやSNS※を使っていて、困ったことがありますか。

（あてはまるすべてを選ぶ）

※SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とは、登録した会員同士がインターネットを通じてコミュニケーションできるサービスのことです。LINE（ライン）や TikTok（ティックトック）・Instagram（インスタグラム）が代表的な SNS です。

-
1. 使ったことがない
 2. 困ったことがない
 3. SNSやメールなどで、からかわれたり、いやがらせを受けたりした
 4. SNSなどのグループに入っていないことで、仲間はずれにされたように感じた
 5. うまく相手に内容が伝わらず、おこらせたり、悲しませたりした
 6. 名前や住所、メールアドレスなどの情報や写真を勝手に使われた
 7. つきまとい、いやがらせなど、現実の犯罪やトラブルに巻きこまれた
 8. その他(どんなこと:)

問14 あなたは、自分の家庭に満足していますか。（1つを選ぶ）

-
- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. とても満足している | 3. どちらとも言えない | 5. まったく満足していない |
| 2. 満足している | 4. 満足していない | |

問15 あなたの家庭では、あなたのことを決めるとき、あなたの意見を聞いて大事にしてくれていると思いますか。（1つを選ぶ）

-
- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. とても大事にしてくれる | 4. 大事にしてくれていない |
| 2. 大事にしてくれる | 5. まったく大事にしてくれていない |
| 3. どちらとも言えない | |

問16 あなたが家庭でこうなったらいいと思うことや、あったらいいと思うサポートはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

-
1. 家族に仲良くしてほしい
 2. 親にもっと家にいてほしい
 3. 親にもっと自分の話を聞いてほしい
 4. 勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい
 5. お金の心配をせずに暮らすための経済的なサポート
 6. そうじをしたり、ご飯をつくってくれる人が来てくれる家事のサポート
 7. 家のことについて内しよで相談できる場所がある
 8. 家族が暴力をふるわないようになるためのカウンセリングやプログラム(暴力をふせぐサポート)
 9. その他()
 10. 特になし

問17 あなたは、学校生活に満足していますか。（1つを選ぶ）

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. とても満足している | 3. どちらとも言えない | 5. まったく満足していない |
| 2. 満足している | 4. 満足していない | |

問18 あなたの学校の先生は、あなたのことを決めるとき、あなたの意見を聞いて大事にしてくれていると思いますか。（1つを選ぶ）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. とても大事にしてくれる | 4. 大事にしてくれていない |
| 2. 大事にしてくれる | 5. まったく大事にしてくれていない |
| 3. どちらとも言えない | |

問19 あなたが通っている学校について、もっとこうなったらいいなと思うことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

1. 遊びの時間を増やす
2. スポーツ活動を増やす
3. 音楽や美術など芸術科目を増やす
4. 先生がもっと生徒の意見を聞いてくれるようになる
5. もっと少人数制のクラスにする
6. もっと将来の役に立つ授業にする
7. 授業を減らす
8. 補習を増やす
9. 宿題を減らす
10. 厳しい決まり事を減らす
11. より良い校則にする
12. より良い校舎にする
13. いじめをなくす
14. 「こどもの権利」についてもっと教える
15. 生徒の家庭についてもサポートをする
16. 障がいのある子もない子もいっしょに勉強できるようにする
17. その他()
18. 特になし

問20 あなたは、住んでいる地域に満足していますか。（1つを選ぶ）

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. とても満足している | 3. どちらとも言えない | 5. まったく満足していない |
| 2. 満足している | 4. 満足していない | 6. 富田林市に住んでいない |

問21 富田林市について、もっとこうなったらいいなと思うことはありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

1. 明かりを増やし、夜も安心して歩けるようにする
2. 道路などで事故にあいそうな場所を減らす
3. 暴力や犯罪をふせぎ、安心してすごせるようにする
4. 公園や遊ぶ場所を増やす
5. スポーツができるところを増やす
6. 図書館や芸術にふれられるところを増やす
7. こどもが参加できる活動やプログラムを増やす
8. 友達と遊ぶ・勉強する場所を増やす
9. 家や学校にいたくない時に過ごせる場所を増やす
10. 参加したり、見たりできる地域のお祭りや行事を増やす
11. その他()
12. 特になし

問22 あなたには、放課後や休日に、自分にとって居場所だと感じられる、落ち着いて居心地よくいられる場所がありますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 自分の部屋 | 9. こども食堂や青年団など地域の居場所 |
| 2. 自分の部屋以外(リビングなど) | 10. 公園などの屋外 |
| 3. おじいちゃんおばあちゃんや親せきの家 | 11. ショッピングセンターやファストフードなどの店 |
| 4. 友達や近所の人の家 | 12. インターネットやSNSを通じたゲームや交流の場 |
| 5. 学校の教室 | 13. 市のしせつ(児童館、Topic、TONPALなど) |
| 6. 学校の教室以外の場所(保健室・図書室など) | 14. その他() |
| 7. じゅくや習い事 | 15. 特になし |
| 8. クラブ活動 | |

問23 あなたは「こどもの権利」をまもるために、どんな仕組みがあると良いと思いますか。（あてはまるすべてを選ぶ）

1. こどもたちに「こどもの権利」について、もっと学校などで教える
2. 大人たちに「こどもの権利」について、もっと伝える
3. こどもが困ったときにだれにも知られず相談に行くことができる場所が近くにある
4. 困ったときに電話、SNS、メールなどで相談できるところがある
5. 気軽に遊びに行けて、話を聞いてくれる場所が近くにある
6. 「こどもの権利」が守られているかを見張り、国や政府に提案できる人がいる
7. あなたの住む地域に、こどもが意見を言える制度がある
8. こどもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人がいる
9. その他()
10. わからない
11. 特になし

問24 富田林市にはこどもや若者が参加し、まちづくりや学校運営について意見を言えたり、自分たちがイベントの企画・運営をしたりする取組があります。

例：中学生の生徒会サミット・高校生や大学生の若者会議

① これらの取組があることを知っていますか。（1つを選ぶ）

1. 知っていて、参加したことがある
2. 知っているが、参加したことはない
3. 知らない

② 今後このような取組に参加したいと思いますか。（1つを選ぶ）

1. とても参加したい
2. 参加したい
3. どちらとも言えない
4. 参加したくない
5. まったく参加したくない

問25 富田林市では「こどもの権利条例」のイラストを作成します。「こどもの権利条例」のイメージに一番合うイラストはどれですか。（1つを選ぶ）

1.



四角のイラストの右がわは富田林市の地図、左がわは自然やいきいきとした人をあらわし、さまざまな人が互いに手を取り合うイラストにしました。

2.



権利が守られ、いきいきとした表情を見せるこどもの姿をイラストにしました。

3.



さまざまな子どもたちを「とんだばやしこどもの権利条例」の文字がつつみこむことで、権利によって守られる子どもたちをイラストにしました。

4.



こどもの権利が守られることで安心し、やわらかく明るい表情を見せる子どもたちをイラストにしました。

5.



わくわくするようなゲームタイトル風にすることで、こどもが「こどもの権利条例」に親しめるイラストにしました。

6. ない

【最後の画面】

最後までアンケートに回答いただきありがとうございます。

みなさんのご意見をもとに条例を作ります。

アンケートの結果をみなさんに後日お届けします。

みなさんが、「こどもの権利」を知る、そして興味をもつきっかけになればうれしいです。

～おわりに～

アンケートに答えたことで、なんだかつらい気持ちになったり、思い出したくなかったことを思い出したりしてしまった人もいるかもしれません。そんなときには、ぜひ一人でなやまずに、周りの信らいてくれる方に、声をかけてみてください。知っている人に相談しにくいときのために、相談先のリストをつくりました。

電話で相談ができます。お金はかかりません。

●『こどもの人権 110 番』

電話番号:0120-007-110

受付時間:平日 8:30～17:15

メールや LINE でも相談ができます。

URL:<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>

●『チャイルドライン』

電話番号:0120-99-7777

受付時間:毎日 16:00～21:00 ※12月29日～1月3日は除く

チャットでも相談ができます。

URL:<https://childline.or.jp/>

●『24 時間子供 SOS ダイアル』

電話番号:0120-0-78310

受付時間:24 時間

富田林市
こどもの権利に関する
アンケート調査
結果報告書
（中高生）

発行：富田林市こども未来部こども政策課
富田林市常盤町1番1号 市役所4階
TEL：0721-25-1000（内線291）
FAX：0721-24-8976

発行年月：令和7年2月